



令和2年度事業報告書

令和3年5月15日

浜松科学館指定管理者
乃村工藝社・SBS プロモーション共同事業体

目次

I 指定管理施設の概要	
1. 施設概要	1
2. 指定管理者事業	1
(1) 指定管理者	1
(2) 指定管理期間	1
(3) 組織	1
(4) 浜松科学館運営委員会	2
(5) 共同事業体による運営支援体制	3
II 施設の利用状況	4
1. 年間実績	4
2. 施設利用者状況	4
(1) 開館実績	4
(2) 利用者数実績	4
(3) 入場者数実績	4
3. 利用者目標と達成状況	5
4. 利用料金と収入状況	5
(1) 科学館利用料金	5
(2) 利用料金収入実績	6
(3) その他の利用料金	6
5. COVID-19 対策	7
(1) 制限について	7
(2) 館内の消毒・除菌清掃	8
(3) 広報・掲示物	8
III 科学館事業	10
1. 展示運営	10
2. 特別展・企画展	11
3. 展示体験プログラム・支援ツール	11
(1) 展示ストーリーブック	11
(2) 学習活用ワークシート	12
(3) 科学学習情報システムの運用	12
4. 参加型学習	12
5. プラネタリウム	13
(1) 投映スケジュール	13
(2) 投映番組	14
(3) プラネタリウムの利用促進	17
6. ミュージアム・アテンダント	18
7. 連携協力事業	19

(1) 学校等との連携	19
(2) 教育関係機関等との連携	22
(3) その他(研究機関や科学館との連携事業等)	23
8. ボランティア活動支援	25
9. 調査・研究および収集・保存	27
10. パブリックリレーションズ	28
11. 視察・調査	30
IV 維持管理業務	31
1. 科学館の維持保全業務	31
2. 特殊機材・展示品等保守管理業務	32
3. 什器・備品等保守管理業務	32
4. 清掃・警備・防災関係業務	33
(1) 清掃業務	33
(2) 警備業務	33
(3) 防災関係業務	33
(4) 安全管理	34
5. 修繕工事に関する業務	35
6. 事故・苦情等の対応状況	35
V 施設貸出	36
(1) 業務概要	36
(2) 貸室料金等	36
(3) 貸出実績	36
VI 収支報告	37
1. 収入	37
2. 支出	37
VII 自主事業	38
1. 必須の自主事業	38
(1) ミュージアムショップ	38
(2) カフェ	39
(3) 自動販売機	39
2. 任意の自主事業	38
3. 自主事業の収支	40
VIII 資料	41
1. 2020年度科学館入館観覧者状況	42
2. 2020年度イベント・講座実施状況	43
3. 利用者アンケート集計結果	46
4. 浜松科学館と大学・企業等との事業連携アンケート調査(評価)結果	54
5. メディア取材等一覧表	56
6. 臨時休館中の業務実施状況及び職務体制	57
IX 指定管理者による自己評価	58

I 指定管理施設の概要

1. 施設概要

施設名称	浜松科学館（愛称 みらいーら）
施設住所	静岡県浜松市中区北寺島町 256 番地の 3
敷地面積	9,911.47 m ² （サイエンスパーク 3,020 m ² 、自然観察園 1,742 m ² ）
建築面積	3,373.95 m ²
延床面積	6,891.95 m ²
建築構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 4 階建
竣工	昭和 61 年（1986 年）4 月
展示更新	令和元年（2019 年）7 月 1 日

2. 指定管理者事業

(1) 指定管理者 乃村工藝社・SBSプロモーション共同事業体

指定管理者 1（代表企業）

所在地 東京都港区台場二丁目 3 番 4 号
 名称 株式会社乃村工藝社
 代表者 代表取締役 社長執行役員 榎本 修次

指定管理者 2（構成員）

所在地 静岡県静岡市駿河区森下町 1 番 35 号
 名称 株式会社 SBS プロモーション
 代表者 代表取締役社長 永田 龍彦

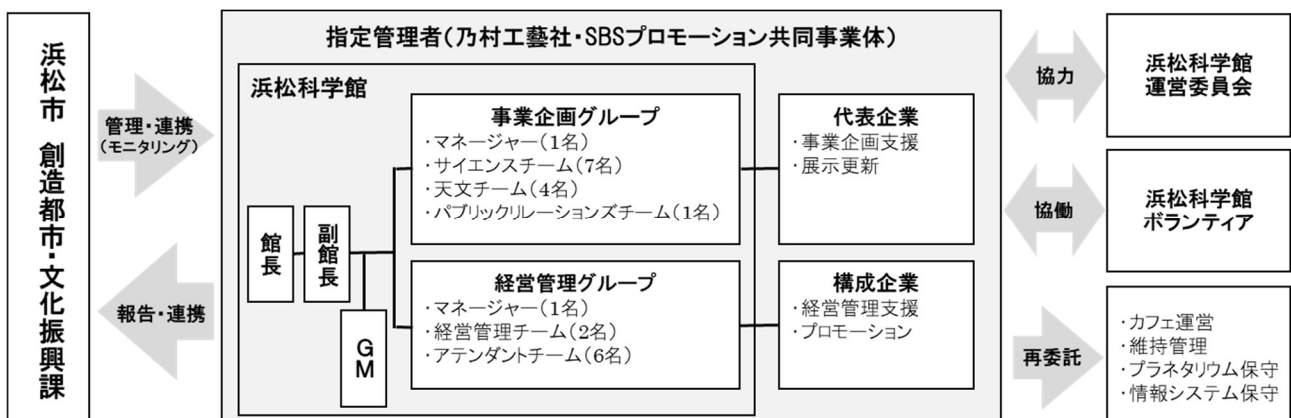
(2) 指定管理期間 2019 年 7 月 1 日～2029 年 3 月 31 日

(3) 組織

名誉館長 天野 浩・名古屋大学教授

館長 小田木 基行

（以下、常勤職員 25 人。2021 年 1 月末にアテンダントチームが 5 人となり、現在は 24 人体制）



(4) 浜松科学館運営委員会

科学館事業への助言および協力、評価等を目的に、学識経験者等で構成する浜松科学館運営委員会を開催しました。また、「天文学習」をテーマに学校教育関係者等によるテーマ別懇話会も開催しました。

委員名簿（順不同、敬称略）

氏名	所属	専門（役員）
上野 征洋	静岡文化芸術大学 名誉教授	メディア論（委員長）
湯口 哲世	浜松商工会議所 理事（総務企画部長）	産業界（副委員長）
遊橋 裕泰	静岡大学情報学部 教授（行動情報学科長）	ICT 研究
村井 良子	(有)プランニング・ラボ代表（ミュージアム・プランナー）	博物館経営
中村 公彦	浜松市役所 市民部 文化振興担当部長	行政

① 運営委員会

名称	日時及び場所	内容
浜松科学館運営委員会	8月20日（木） 14：00～16：00 浜松科学館会議室 （Zoomによるリモート開催）	令和元年度事業報告 指定管理者事業評価結果 令和2年度事業計画及び第一四半期実績 意見交換 等

②テーマ別懇話会

テーマ	日時及び場所	内容
浜松科学館プラネタリウムを活用した天文学習の推進	11月24日（火） 14：00～16：30 浜松科学館プラネタリウムドーム セミナールーム	天文学習投映の観覧、小学校・天文台・科学館での天文学習について報告、意見交換等 (参加者) ・上野 征洋（浜松科学館運営委員会委員長） ・山本 千興（浜松市立入野小学校校長） ・松本 孝久（浜松市立西気賀小学校校長） ・伊藤 啓太（浜松市西都台小学校教諭） ・鈴木 謙誌（浜松市天文台指導主事）※欠席 ・雨森 勇一（浜松科学館天文チーム職員）

※テーマ別懇話会開催後、「浜松科学館プラネタリウム学習投映利用に関するアンケート調査」を浜松市教育委員会理科研究部(理科主任)対象に実施し、96名から回答を得ました。集計結果及び浜松科学館プラネタリウム学習投映の概要資料を、「ミライム」で返信しました。

(5) 共同事業体による運営支援体制

浜松科学館指定管理者である共同事業体構成員は、連帯して指定管理業務に責任を負うとともに、必要な経営資源（人材・業務インフラ・資金・情報）を供給します。また、各社の得意分野や専門性を活かして運営をバックアップします。さらに、共同事業体の各企業が管理運営する類似施設や静岡県内の文化施設との人的交流や事業面の連携を図る環境をつくることで、運営ノウハウの共有や、スタッフ個々人の専門能力の向上を図っています。

共同事業体の代表企業である乃村工藝社は国内の主要科学館における展示の設計・製作及び施設の管理・運営実績を数多く有しており、蓄積された民間ノウハウと全国的なネットワークを活用することで浜松科学館の運営を支援します。また SBS プロモーションは自社メディアを活用した効果的な広報・プロモーション活動とともに、地域人材や企業、大学との幅広いネットワークにより、オール浜松での魅力的な科学館づくりに寄与しています。

名 称	日時及び場所	内 容
乃村工藝社 P P P 事業部 テーマ交流会	11月5日(木) 10:00～12:00 Zoom によるリモート開催	乃村工藝社が管理運営する全国のミュージアムの職員が、コロナ禍における施設運営、教育普及に関する各館の取り組みなどについて事例を共有しました。
	2月8日(月) 10:00～16:00 Zoom によるリモート開催	
SBS プロモーション浜松支社 管轄「全指定管理施設会議」	3月17日(水) 13:30～16:00 浜松科学館セミナールーム	SBS プロモーション浜松支社管轄の指定管理施設(5施設)の代表者が集まり、各館の取組の発表や意見交換を行いました。
佐賀県立宇宙科学館による 企画展支援	3月20日(土)～	春の企画展「ビーコロ展 in 浜松」の開催にあたり、乃村工藝社が管理運営する佐賀県立宇宙科学館から、展示装置6台を借り受けました。
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 感染防止 対策	通年(補助事業の実施期間 6月1日(月)～11月30 日(月))	乃村工藝社を通じて、令和2年度文化芸術振興費補助金(文化施設の感染症防止対策事業)により、消毒用アルコール液、非接触型体温計、飛沫防止用ビニールシート等の感染防止用品を調達しました。 また、衛生用品の供給不足に対応して、共同事業体両社よりマスク、フェイスガード、消毒液等の支給がありました。

※本報告書では、世界保健機関（WHO）の決定に基づき、新型コロナウイルス感染症の正式名称を「COVID-19」と表記します。

II 施設の利用状況

1. 年間実績 (2020年4月1日～2021年3月31日)

開館日数	255日
休館日数	63日 (うち15日は保守点検等のための休館)
臨時休館日数	47日 (COVID-19感染防止対策のため2020年4月1日～5月31日まで休館)
開館時間	9:30～17:00
	・夏季開館時間延長 9:30～18:00 (7月20日～8月31日)
	・その他イベント等で適宜、開館時間を延長
	・施設貸出 9:30～21:30

2. 施設利用者状況

(1) 利用者数実績

利用者数総数		97,730人
常設展示入場者・プラネタリウム観覧者数		88,826人
		90.9%
講座・イベント参加者数		7,847人
		8.0%
施設貸出 (ホール・セミナールーム) 利用者数		1,057人
		1.1%

(2) 入場者数実績

上段は人数。下段は構成比

常設展示入場者数：88,826人			
年齢別	大人	中人	小人
	43,131人	1,785人	43,910人
	48.6%	2.0%	49.4%
種別	個人		団体
	77,098人		11,728人
	86.8%		13.2%
学校等団体等利用状況：11,529人			
幼稚園・保育園	小学校	中学校	その他
42園	91校	9校	7団体
2,781人	7,462人	665人	621人
24.1%	64.7%	5.8%	5.4%

3. 利用者目標と達成状況

2020年度当初から臨時休館となり、利用者目標に関して大幅な制約を受けましたが、中でも最大限集客を図れるよう努めました。COVID-19感染拡大による緊急事態宣言が4月に出されて5月の大型連休が休館となったことや、7月から8月に市内でクラスターが発生したことなどが影響して、最も利用者の多い時期に運営上の制限がありました。9月以降、展示特別イベントやプラネタリウムテーマ番組などによる集客効果で単月目標を上回る月もあり、ビーコ展を開始した3月度が年度最多の入場者数となっています。社会・経済活動の緩和期と抑制期が繰り返されるような制約の下でも、的確にターゲットにした独創性のあるコンテンツが、多くの利用者に支持されました。今後も科学館の事業目標に基づき、より体験価値の高いプログラムを創造していきます。

月	常設展入場者数（人）				プラネ・大型映像観覧者数（人）			
	目標	構成比	実績	達成率	目標	構成比	実績	達成率
4月	8,000	6.9%	0	0.0%	3,000	6.7%	0	0.0%
5月	8,500	7.3%	0	0.0%	3,000	6.7%	0	0.0%
6月	7,000	6.0%	5,319	76.0%	2,000	4.4%	2,509	125.5%
7月	11,500	9.9%	9,937	86.4%	4,000	8.9%	5,425	135.6%
8月	23,000	19.8%	10,269	44.6%	8,000	17.8%	5,556	69.5%
9月	8,000	6.9%	10,706	133.8%	3,000	6.7%	4,635	154.5%
10月	8,000	6.9%	11,835	147.9%	2,000	4.4%	5,592	279.6%
11月	7,000	6.0%	9,089	129.8%	2,000	4.4%	4,105	205.3%
12月	8,000	6.9%	5,765	72.1%	4,000	8.9%	3,130	78.3%
1月	9,000	7.8%	6,041	67.1%	4,000	8.9%	2,883	72.1%
2月	8,000	6.9%	7,044	88.1%	4,000	8.9%	3,163	79.1%
3月	10,000	8.6%	12,821	128.2%	6,000	13.3%	5,744	95.7%
合計	116,000	100.0%	88,826	76.6%	45,000	100.0%	42,742	95.0%

4. 利用料金と収入状況

(1) 科学館利用料金

浜松科学館条例（昭和61年条例第30号）に基づき、利用料金を以下の通りに設定しています。利用料金制度（地方自治法第244条の2第8項・第9項）によって、利用料金は指定管理者の収入として収受し、管理運営業務経費等に充当されています。

区分	常設展入場料			常設展入場料+プラネタリウム1回分観覧料 (大型映像1回分観覧料)			
	大人	中人 (高校生)	小人 (中学生以下)	大人	中人 (高校生)	小人 (中学生以下)	
通常料金	600円	300円	無料	1,100円	550円	無料	
団体料金	浜松市 湖西市	420円	210円	無料	770円	380円	無料
	その他地域	540円	270円	無料	990円	490円	無料

※70歳以上の方は入場料および観覧料が無料となります。

(2) 利用料金収入実績（科学館入場料、プラネタリウム観覧料）

区分		利用料金
個人	常設展	10,866,300円
	常設展+プラネタリウム・大型映像	17,061,890円
	観覧券	341,250円
	割引	-137,720円
	A 個人合計	28,131,720円
団体	常設展	146,310円
	常設展+プラネタリウム・大型映像	31,900円
	B 団体合計	178,210円
個人・団体合計 (A+B)		28,309,930円

(3) その他の利用料金

① 年間パスポート

科学への興味関心を深め、コアな利用者を育成するため、繰返し利用（リピート利用）を促す年間パスポートを発行しました。常設展入場とプラネタリウム観覧（1日1回分）に適用できます。

料金区分	大人	中人（高校生）	小人（中学生以下）
		2,700円	1,200円
購入者数	690人	4人	
利用料金収入	1,863,000円	4,800円	
利用者数	4,835人	11人	

② 特別展（特別イベント・企画展）

開催規模や内容に応じて設定します。2020年度は COVID-19 感染拡大の影響から、「特別展」の代わりに、夏の特別イベント「ヒラメキ ナゾキみらいーら」と、春の企画展「ビーコロ展 in 浜松」を開催しました。

・夏の特別イベント「ヒラメキ ナゾキみらいーら」

参加費としてナゾキブック 1冊につき 300円を設定

参加人数	参加費
1,490人	447,000円

（7月21日～8月31日、9月～12月は土日祝開催）



・春の企画展「ビークロ展 in 浜松」

大人・中人・小人ともに常設展チケットで入場可

利用区分	入場者数
大人・中人	3,827人
小人	7,138人
計	10,965人

(3月20日～3月31日入場者延べ人数)



③ その他の料金

催しの実施に際して、材料費等の実費相当額については、利用者から受益者負担分をいただきました。

区分	利用者数	金額
ミニワークショップ参加者数・料金	5,179人	1,562,700円
みらいーらカード発行数・料金	386人	115,800円
貸出端末利用者・料金	5人	1,000円
合計	5,570人	1,679,500円

5. COVID-19 対策

COVID-19による感染症対策については、新型インフルエンザ等対策特別措置法（平成24年法律第31号）第32条第1項の規定に基づく緊急事態宣言が2020年4月に出されました。浜松科学館では、浜松市との協議により2020年3月3日から臨時休館措置を執り、6月2日より開館しました。（※6月1日は通常閉館）

(1) 制限について

COVID-19による感染拡大防止の観点から、以下の通り利用者人数に制限を設けました。加えて、機械換気設備の適切な作動、各事業プログラム参加者の人数制限、館内の消毒作業、食事制限等により、利用者同士の密接・密集・密閉状態を引き起こさないよう最大限留意しました。

① 入場者数・観覧者数

月 日	入場者数 (有料ゾーン滞留者数)	プラネタリウム観覧者数 (1回あたり)	その他の主な制限等
6月2日～6月18日	400人	72人	館内及びサイエンスパークでの食事禁止
6月19日～6月30日	700人	100人	館内での食事禁止のみ継続
7月1日～7月14日	1,000人	100人	館内での食事可能。カフェ営業開始 (7/7～)
7月15日～10月4日	1,300人	100人	
10月8日～3月31日	1,300人	130人	

② サイエンスショー・ミニワークショップ

◎サイエンスショー

前年度は1回30分、1日3回行っていましたが、1回10分に時間を短縮し、1日5回の開催としました。

1回目	2回目	3回目	4回目	5回目
11:00	12:00	13:00	14:00	15:00

また密集状態を避けるため、定員を制限しました。

(※6月2日以降：50人、10月8日以降：80人)

◎ミニワークショップ

今年度から対面での対応、利用者同士の密接状態を避けるため、会場を中2階「みらいーらテーブル」から、1階「出口ゲート付近」に変更しました。1回あたり5組で、参加者が作り方を見ながら個々に作成する方法で開催しました。

② 展示物等の利用

利用停止又は利用の一部停止。(6月2日～3月31日)

◎利用停止

- ・ボイスチェンジパイプ(音ゾーン)
- ・子どもエレベーター、子ども通路

◎利用の一部停止

- ・電子音楽の世界(音ゾーン) : マイクのみ利用停止
- ・バイオメテイクス(自然ゾーン) : ヤモリグローブのみ利用停止

③ 食事・カフェ

◎館内での食事を制限(6月2日～6月30日)

- ・セミナールーム・ホールは飲食スペースとして開放せず、その他の休憩スペースもテーブル・椅子を撤去した。
- ・2階自動販売機横の休憩スペースの椅子や、展示フロア内の椅子の設置間隔を広げた。
- ・キッズサイエンス調乳機エリアはテーブルを撤去した。

◎7月1日：食事制限解除

◎7月7日：カフェS.O.W.営業開始(席数30席に制限)

(2) 館内の消毒清掃

6月より、消毒液、飛沫防止シート、パーテーション等の設置、展示物の定期消毒清掃を行っています。

(3) 広報・掲示物(次ページの写真参照)

- A 入場制限についてのお知らせ
- B お客様へのお願い(※)
- C はままつLINEコロナ見守りシステム
- D マスク着用手指消毒の励行等、感染症対策のお願い
- E ショップからのお願い
- F 新しい感染症との向き合い方『わかんないよね新型コロナ』(企画・制作 日本科学未来館)



※B お客様へのお願い（拡大版）
（中2階みらいーらステージのスクリーンにも投映）

安心・安全のためのエチケットにご協力ください

<p>マスク着用でのご来館をお願いいたします。</p> 	<p>お並びの際、展示エリアでは前後の間隔をあけてください。</p> 	<p>こまめな手洗・手指消毒をお願いいたします。</p> 
<p>混雑状況によって、ご入館を制限する場合がございます。</p> <p>STOP</p> 	<p>咳や発熱の症状があるお客様はご来館をお控えください。</p> 	<p>食事での会話はなるべくお控えください。</p> 

安心・安全のために浜松科学館が実施していること

<p>職員がマスクを着用いたします。</p> 	<p>こまめな手洗・手指消毒をいたします。</p> 	<p>事前申し込み制の催しは、当面のあいだ中止いたします。</p> 
<p>常時換気・消毒液での定期的な清拭をいたします。</p> 	<p>ショップのテスターや展示サンプル等、一部撤去しております。</p> 	<p>レジガードの設置、コイントレーの使用をいたします。</p> 

Ⅲ 科学館事業

1. 展示運営

常設展示アイテム 91 点と屋外展示、自然観察園が常時良好な状態で利用できるよう管理するとともに、サービス価値を高めるためのさまざまな体験プログラム、学習ツール等を用意して多角的な展示運営事業を展開しました。

フロア	点数	ゾーニング	アイテム			
1階	12点	自然ゾーン	浜松のすがた アクティブ・リサーチ・デスク デジタルスコープで見る 顕微鏡で見る でんけんラボ	いきものの色覚 センサーでとらえる世界 はままつ環境ウォール リアルタイム地震 アースモニター	コレクションウォール バイオメテックス	
2階	21点	光ゾーン	アクティブ・ライト・シューティング 光のテーブル いろいろな鏡 カラーミキサー 瞳のかんさつ	光ファイバーのしくみ 光通信のしくみ 光ではかる 光を利用する 光で動きをとらえる	目のしくみ 立体に見えるワケ 色当てチャレンジ ゾートローブ 視覚のふしぎ	かけ絵あそび 光の波長と技術 ようこそ LEDの世界へ イ写テレビ 高柳 健次郎 堀内 平八郎
2階	22点	音ゾーン	アクティブ・サウンド・ライブ 弦の動き おんさじけん ボイスチェンジパイプ ドップラーテーブル 耳のしくみ	発声のしくみ どこまで聞こえる？ どう聞こえる？ 効果音をつくろう おでこ聞ここう 音でしらべる	音を利用する エコーチューブ 音のしづき 音のかたち 響きの変わる部屋	ピアノアクション 電子楽器の世界 山葉 真楠 河合 小市 梯 郁太郎
2階	20点	カゾーン	アクティブ・パワー・コースター ビジュアルビリヤード バスカルのイス 縦波と横波 砂鉄でお絵かき	水のテーブル 振り子の動き いろいろ発電 電磁誘導テーブル 風のテーブル	メカニカルウォール メカニカルブロック クルマの基本と応用 バイクの基本 EVサーキット	船を動かそう パワーアシストつなひき 鈴木 道雄 本田 宗一郎 川上 源一
2階 3階	10点	宇宙ゾーン	アクティブ・スペース・ミッション 星座を見つけよう スイングバイ ロケットを飛ばそう カミオカンテVR	スペースホットピック (3F) 月面AR (3F) 笹ヶ瀬隕石 (3F) H 2 Aロケット (模型・3F) 光学式プラネタリウム (3F)		
2階	3点	新技術コーナー	ローム浜松株式会社 原田精機株式会社 静岡大学工学部			
2階	3点	やらまいか テクノロジー コーナー	①ねじブロック (橋本螺子株式会社) 展示期間 2020年1月～6月 ②工場のなかの「はこぶ」いろいろ、動物をつくってみよう (SUS株式会社) 展示期間 2020年7月～10月 ③えっ！すごい！！誰も知らないゴミの世界 (株式会社ミタック) 展示期間 2020年11月～2021年2月			
合計	91点					

屋内施設、屋外施設・展示については、常時、開放されている空間であるため、特に安全で快適な状況を保つよう努めるとともに、さまざまな事業を展開する場として活用しています。

区分	数量	ゾーニング	ファシリティー・アイテム			
屋内	5箇所	屋内施設	2階 キッズ・サイエンス・ランド	中2階 みらいらステージ みらいらテーブル	1階 ものづくりラボ サイエンスラボ	
屋外	8箇所	屋外設備・展示	サイエンスパーク パワーアシストハウス サウンドコレクトチェア マテリアルベンチ	芝生広場 バラボラ サイエンス農園 ニュートンのリングの木 醍醐寺のクロン桜	デッキ 霧のステージ	自然観察園

2. 特別展・企画展

COVID-19の感染対策を講じ、特別展の代替として夏の特別イベント、春の企画展を開催しました。市民が科学に親しむきっかけをつくることに努めています。

名称	開催時期	実施内容
夏の特別イベント 「ヒラメキ ナゾトキ みらいーら」	7月21日～12月28日 ※9月～12月は土日祝開催	館内の展示を使って実験し、謎を解き明かしていくイベントを開催。好評のため12月28日まで延長し土日祝日に開催しました。 7月：224人 8月：579人 9月：268人 10月：172人 11月：135人 12月：112人 合計 1,490人 クリア人数：1,021人、クリア率69%
春の企画展 「ビーコ展 in 浜松」	3月20日～3月31日 ※5月9日(日)まで開催予定	ビー玉を転がし、そこに隠れている力学の面白さを体験してもらうことを狙いました。装置は当館職員が制作した11台に加え、佐賀県立宇宙科学館から6台を借用、SUS株式会社より1台ご提供頂き、展示しました。 ◎入場者数 10,965人(延べ人数)

区分	人数	構成比
大人・中人	3,827人	34.9%
小人	7,138人	65.1%
計	10,965人	—

3. 展示体験プログラム・支援ツール

(1) 展示ストーリーブック

自然を起点とし、歴史・文化との相互作用を経て、力・音・光・宇宙という4つの分野で様々な産業が生まれてきた浜松地域のストーリーを、当館の展示に関連付けて紹介するコンテンツです。科学館ウェブサイト等で公開しています。



(2) 学習活用ワークシート

展示アイテムを利用した子供たちの主体的な学び、深い学びを促進することを目的としています。児童生徒を対象とした学習活用ワークシートを小学校の単元別に展開し、主に団体による学習利用の際に活用されています。

内容：3年生「磁石の性質」・「光の性質」、4年生「月と星」、5年生「電流の働き」・「振り子の運動」、6年生「電気の利用」・「土地のつくりと変化」

(3) 科学学習情報システム

館内での体験の質を高めるとともに、個人の体験の記録を残すことで発展的な学びにつなげることを目的としています。ポイントを貯める機能や、チャットボット機能を運用し、アプリあるいはICカード（みらいーらカード）を用いた体験価値の向上を図りました。獲得したポイント数に応じて、オリジナルグッズや特別体験などの特典を提供しました。

4. 参加型学習

利用者サービスの主軸が「体験」に移行している中、さまざまな体験プログラムを実施し、興味関心をさらに喚起するよう努めました。いずれも他の類似施設で行われているものより大規模な仕掛けで参加機会も多く、利用者の満足度や科学への関心を呼び起こす浜松科学館ならではの人気プログラムとなっています。

名称	実績	内容
科学学習情報システム	アプリ登録数 562人 カード登録数 397人 (合計) 959人	今年度は、夏の特別イベント「ヒラメキ ナゾトキ みらいーら」の中にアプリの利用促進の仕掛けを入れ込んだことにより、ICカード会員よりもアプリ会員の登録数が上回る結果となりました。展示に関連した学びを深めるツールとしても、常時機能しており、ポイントを貯めていく楽しみ方をされる方が増えています。
アクティブ展示解説	実施回数 476回 平日2回・休日4回 参加者数 5,275人	「自然」「光」「音」「力」「宇宙」の各ゾーンの展示アイテムを活用して、利用者とスタッフがコミュニケーションをとることのできる展示解説を行いました。平日に2回、休日には4回を目安に、タイムリーなノーベル賞の話題を織り交ぜたり、でんけんラボを開放したり、多くの方に体験して頂けるよう創意工夫をしながら実施しました。
サイエンスショー	実施回数 1,292回 1日5回 参加者数 26,701人 (1回平均 21人参加)	みらいーらステージで大規模に行っているサイエンスショーは、科学館のメインコンテンツとして利用者の人気プログラムに定着しました。演者と参加者がショーを介して交流する中で、予測したり考えたりするプロセスを重視したプログラムとしています。今年度はCOVID-19感染拡大防止の観点から、1回10分のプログラムを1日5回、2種類実施しました。
	実施回数 18回 1日2回 参加者数 843人 (1回平均 47人参加)	毎月第3金曜日に開催した「夜の科学館」にあわせて、大人向けのサイエンスショーを実施しました。日中の時間帯に行うサイエンスショーと比べて、原理の解説などをより詳細にするなどの工夫を加えたものです。科学館が大人でも楽しめる場所であるという印象を少しずつ浸透させています。

名称	実績	内容
ミニワークショップ	実施回数 1日1回 264回 参加者数 5,062人 (同保護者数含む) 10,124人	10～15分程度で体験できる、実験や工作などのプログラムを行いました。およそ2週間ごとに内容を入れ替え、コンテンツの鮮度を保ち、リピート参加を促進しています。加えて、科学館ボランティアが参画しやすく、利用者との交流の場としても定着しました。
	実施回数 1日1回 12回 参加者数 570人	通常のプログラムとは別に、春の企画展「ピーコロ展in浜松」(3/20～31)に合わせて、「動く仕組みを考えよう！ピコピコカプセル」を同時開催しました。企画展の内容に合わせたものを考案し、ワークショップと合わせて、企画展をより理解してもらえるように実施しました。
サイエンスラボ ものづくりラボ	実施回数 33回 参加・受講者数 1,120人	今年度は時間の短縮、定員の削減、野外での実施など感染対策を十分に施し、現在の環境で出来る内容(例：15分で科学実験・自然観察、おそとDE顕微鏡、浜松シャボン玉フェス2020など)を考案、実施しました。

5. プラネタリウム

(1) 投映スケジュール

① 6月2日～3月19日まで

回	平日(長期休暇を除く)	土曜・日曜・長期休暇期間
1	10:00～10:45 事前予約団体	10:30～11:10 キッズプラネタリウム
2	11:30～12:15 事前予約団体	11:30～12:10 大型映像
3	13:00～13:45 事前予約団体※水曜は生解説プラネ	13:15～14:10 生解説プラネタリウム
4	14:30～15:10 大型映像	14:30～15:10 大型映像
5	15:50～16:45 生解説プラネタリウム(※1)	15:50～16:45 生解説プラネタリウム
6	17:50～18:30 特別投映 (毎月第3金曜日※2)	—————
7	18:50～19:30 特別投映 (毎月第3金曜日※2)	—————

※1 事業計画では5回目の開始時間を16:00としていましたが、2020年6月より来館者が利用しやすいように15:50に変更しました。

※2 2020年7月から毎月第3金曜日の特別投映枠を2回に増やしました。

② 3月20日～3月31日

利用者のニーズに合わせて、土曜・日曜・祝日、長期休暇期間の時間割を変更しました。

回	土曜・日曜・長期休暇期間
1	10:30～11:10 キッズプラネタリウム
2	11:40～12:35 生解説プラネタリウム
3	13:15～13:55 大型映像
4	14:30～15:25 生解説プラネタリウム
5	15:50～16:30 大型映像



(2) 投映番組

① 生解説プラネタリウム

当日の星空解説とテーマ解説を、スタッフがすべて生解説することによって、一方的ではなく双方向のコミュニケーションを重視した投映を展開しました。テーマ解説部分では、企画・シナリオ・作画・動画制作・編集・スクリプト制作などの工程をスタッフが内製化し、宇宙天文に関する話題をタイムリーに提供しました。加えて、天竜浜名湖鉄道株式会社とコラボレーションした「天竜浜名湖鉄道 星空紀行」や、浜松城築城 450 周年に合わせた「家康公が見た星空」、小説「月まで 3 キロ」をオマージュした「月まで何キロ？」など、地域性を意識した番組企画を行いました。

【テーマ】




投映期間	テーマ内容	回数	観覧者数
6月2日～6月21日	「部分日食 2020.6.21」 2020年6月21日に起こった部分日食に関する神話や仕組み、浜松での見え方について紹介する。 	26回	675人
6月23日～7月7日	「七夕伝説」 「七夕」に関する伝説の紹介と伝説のとおり織女星と牽牛星は出会うことがあるのかシミュレーション機能で確認した。 	19回	735人
7月8日～10月4日	「Galaxy Tours ギャラクシーーツアーズ」 銀河とは何か？銀河の種類や将来起こるとされている銀河系とアンドロメダ銀河の衝突について紹介。 	142回	4,993人
10月8日～11月20日	「天竜浜名湖鉄道 星空紀行」 天浜線沿線を巡りながら、車窓の景色や美しい星空を紹介。また、光害や星の動きや星の色についても解説。 	58回	2,936人
11月21日～12月20日	「おかえりなさい！はやぶさ2」 2020年12月6日に地球に小惑星サンプルを届けた「はやぶさ2」について紹介。 	39回	1,174人

投映期間	テーマ内容	回数	観覧者数
12月22日～3月19日	「家康公が見た星空」 三方原の戦いの日の夜に見られた星空を再現。現在は見るできない星（超新星）も紹介。 	114回	2,553人
3月20日～3月31日	「月まで何キロ？」 月までの距離がだんだん遠ざかっていること、月の神話や月の誕生の説などを紹介。天竜区月の道路標識も紹介。 	24回	1,389人
合計		422回	14,455人

② 大型映像

プラネタリウムドームを有効活用し、科学分野の大型映像を上映することで科学への興味・関心を高めました。

【上映コンテンツ】

上映期間	コンテンツ内容	回数	観覧者数
6月2日～3月31日	「タートル オデッセイ」 アオウミガメの一生を追うドキュメンタリー。 	129回	6,430人
6月2日～10月2日	「星の旅 -世界編- 特別ロングバージョン」 世界の星空、南半球の星座、ウユニ塩湖など世界各国の絶景の実写映像と天の川の秘密などをCGでわかりやすく紹介。東京以外では「初公開」となる特別ロングバージョンを上映。 	107回	3,792人
10月3日～3月31日	「オーロラの調べ—神秘の光を探る—」 ゆらめくカーテン、渦巻く光…。北極圏で見える星空、氷河やツンドラに連なる山々の絶景。大自然とともにオーロラの魅力を満喫する番組。 	147回	4,625人
合計		383回	14,847人

③ キッズプラネタリウム

小学校低学年以下の児童が、家族と楽しめる星空生解説番組を通常より短い 30 分間で実施しました。投映当日の夜に、浜松で見られる星空案内と来場日の誕生日星座を生解説で投映することで、毎月内容が変わり、いつ来館しても新しい発見があるようにしました。

投映期間	投映内容	回数	観覧者数
6月2日～3月31日	「こんやのおほしさと おたんじょうびのせいざ」 今夜、浜松で見られる星空案内および来場日の誕生日星座や神話などを紹介。今年度は宇宙旅行（太陽系惑星旅行）を追加。	130回	6,225人



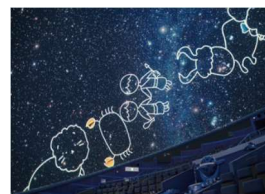
テーマ（星座）	投映期間	テーマ（星座）	投映期間
ふたご座	6月2日～6月21日	いて座	11月23日～12月22日
かに座	6月23日～7月23日	やぎ座	12月23日～1月20日
しし座	7月24日～8月23日	みずがめ座	1月21日～2月19日
おとめ座	8月24日～9月22日	うお座	2月20日～3月20日
てんびん座	9月24日～10月23日	おひつじ座	3月21日～3月31日
さそり座	10月24日～11月22日		


④ 事前予約団体を対象とした投映

小学校向けに、理科の授業カリキュラムに合わせた学習投映を行いました。今年度より小学4年生向けに加えて、小学6年生向けプログラムと中学生以上向けプログラムを用意し、投映しました。加えて、理科学習以外での利用にも対応するため、幼稚園・保育園や小学校低学年向けのスタンダードプログラム2種類（ショート：約25分間、フル：約30分間）を用意しました。キッズプラネタリウムの内容をベースとしたものです。

生解説の特徴を活かし、スタッフが臨機応変に解説内容を変えることで幅広い年齢層に合わせた投映となっています。

投映期間	投映内容	回数	観覧者数
6月2日～3月31日	幼稚園・保育園向け星空生解説番組 スタンダードフル スタンダードショート	37回	1,771人



投映期間	投映内容	回数	観覧者数
6月2日～3月31日	小学校向け学習投映 スタンダードフル スタンダードショート 理科学習小学4年 理科学習小学6年 大型映像 	45回	2,995人
6月2日～3月31日	その他団体向け投映 スタンダードフル 理科学習中学生以上	8回	426人
合計		90回	5,192人

(3) プラネタリウムの利用促進

・プラネタリウムドームを活用したイベント等の開催（特別投映）

利用者層の拡大を目指し、今年度から毎月第3金曜日に「みらいーら 夜の科学館」を開催しています。その主たるプログラムとして、大人（高校生以上）限定の特別投映「スターフライト」を行いました。世界各国の星空を巡るバーチャルツアーを楽しんでもらえるよう、観覧者には「パスポート」を配布して、毎回、目的地別にデザインされたスタンプを押す演出を施しました。リピートを促進し、6回以上の観覧者には記念品を贈呈しています。COVID-19の影響で海外旅行を回避している方々に対しても、高い訴求力があつたと思われます。

投映期間	投映内容	回数	観覧者数
7月～3月 （毎月第3金曜日） 2回投映 ①17:50～18:30 ②18:50～19:30	特別投映「スターフライト」 1年かけて世界の星空をご案内する 大人限定のトラベルプラネタリウム。  7月・・・ペルー 8月・・・カナダ 9月・・・パリ 10月・・・ギリシャ 11月・・・トルコ 12月・・・エジプト 1月・・・南アフリカ 2月・・・バリ島 3月・・・オーストラリア 4月・・・ハワイ 5月・・・死チ（予定） 6月・・・メキシコ（予定）	18回	2,023人

6. ミュージアム・アテンダント

① 業務の概要

利用者に対し適切な案内を行い、顧客起点の接客や確実な発券業務により、利用者満足度を高めるよう努めました。随時、業務マニュアルに基づく研修を行い、スタッフ各人が高いサービス水準の維持、向上を図っています。また、学習利用団体等の予約に際しては、利用者からの申込書の受付や、電話対応、下見対応などの窓口を一元化し、利便性の高いスピーディーな対応を行いました。

② 業務実績

◎1階インフォメーションにおける受付・案内業務

業務	内容
来館者の誘導、案内、受付業務	丁寧かつ的確な来館者の誘導や案内に努めました。また、団体利用の申込受付や下見に際しては、できるだけ利用時の不明点を解消できるよう対応しました。 また、利用者視点での臨機応変な対応を心がけ、より利用者一人一人に合った最適なサービスの提供を目指しました。
発券業務	常設展入場料、プラネタリウム観覧料等の利用料金の徴収（減免手続や領収書発行等含む）やチケットの発行、プラネタリウムの残席数の管理、各種割引券への対応、提携駐車場チケット等の配布等を行いました。
科学学習情報システム端末貸出業務	科学学習情報システムの貸出端末利用者への対応、貸出料金の徴収、使用方法の説明を行いました。
情報提供業務	周辺及び市内の文化施設や関係機関に関する情報提供等を行いました。特に、利用者からは、駅へのアクセスや周辺飲食店についての質問が多く、パンフレット等を活用して積極的な対応をしました。
その他業務	来館者により楽しんで利用していただくため、1階のインフォメーションカウンター周りに、季節の飾りつけを行いました。利用者の方の中には、装飾の前で記念写真を撮られる方もいました。また、日本語を母国語としない利用者の方にも対応できるよう、プラネタリウムの注意事項等を多言語で作成し、適宜配布しました。（英語・ポルトガル語・中国語）



◎プラネタリウムにおける誘導・案内、安全管理業務

科学館3階のプラネタリウムドーム内で、観覧者の誘導、案内および安全管理を行いました。

業務	内容
チケット確認	観覧券の確認および観覧者数のカウントを行いました。
誘導案内	座席への誘導および出口への誘導を実施しました。また、観覧者へドーム利用上の注意点等の説明を適宜実施しました。
安全管理	非常時の避難誘導を含めた、場内の安全管理に取り組みました。また、避難誘導訓練を行い、観覧者の安全確保に努めています。

7. 連携協力事業

(1) 学校等との連携

科学館の特長を活かした効果的な学習を、浜松市教育研究会理科研究部や学校の先生方と連携して取り組み、学校団体が利用しやすい環境の確保に努めました。

① 学校団体の学習利用の推進

展示室の見学とプラネタリウムの学習投映を基本とした学校等の団体向けのプログラムを設けて、学年や学校側の諸条件に合わせて選択できるようにしています。『浜松科学館 学習利用ガイドブック』（A4判 19頁）を改訂し、市内小学校等に展開しているほか、2020年度には新たに湖西市、磐田市、袋井市、掛川市、森町の教育委員会及び各小学校にも送付しました。



また、浜松科学館ニューズレター「COMPASS」を、浜松市、湖西市、磐田市、袋井市、森町の全小学校児童、掛川市の全小学校（各学校 50部）に教育委員会経由で配布し、一層の周知を図りました。

2020年度は COVID-19 感染拡大の懸念や学校の臨時休校の影響により、前年度比 46.7%と団体利用が半減しました。

教育団体利用状況

区分	2020年度		2019年度		比率	
	校数	人数	校数	人数		
小中学校	浜松市	53校	4,606人	89校	4,044人	59.6%
	県内他市	46校	3,437人	68校	3,484人	67.6%
	県外	1校	42人	9校	315人	11.1%
特別支援学校	県立	1校	42人	11校	159人	9.1%
	県外	0校	0人	1校	16人	0.0%
高等学校	県内	3校	509人	3校	146人	100.0%
幼・保育園	浜松市	38園	2,560人	74園	3,856人	51.4%
	県内他市	4園	221人	12園	808人	33.3%
その他団体(ボーイスカウト等)	4団体	112人	54団体	1,930人	7.4%	
合計	150団体	11,529人	321団体	14,758人	46.7%	

② 学習利用にあたっての教員との連携・協力

教員・引率者の相談や実地調査（下見）に対応し、学習効果の高い授業の実施を支援しました。児童・生徒が展示を活用して主体的に学ぶことを支援するワークシートを用意し、ウェブサイトダウンロードできるようにしています。また、リバージオモデル、浜松（天竜川）の岩石学習キット等の教材貸出の対応も行っております。（※2020年度はCOVID-19の影響による授業時間の圧迫などの事情で貸出実績なし）。

③ 出張科学館の実施

今年度は、COVID-19感染拡大防止のため、例年は年度当初に行う募集を見送りました。次年度以降の出張プログラムの参考事例として下記2件を試験的に実施しました。

月日	学校名	参加人数	実施内容
10月13日	浜松市立都田南小学校	63人	都田総合公園での野外観察会
2月3日	聖隷クリストファー小学校	30人	Zoomを利用したサイエンスショー

④ 作品展、表彰式に関する業務

小・中学校の児童・生徒の理科学研究作品等について、関係団体との連携・協力により、作品展、表彰式を開催しました。（参照：P43 VIII 資料2「2020年度イベント・講座実施状況」）

名称	開催時期	場所	実施内容
浜松市小・中学生理科学研究作品展	9月9日～22日	浜松科学館 ホール	浜松市教育研究会理科学研究部と共催。
第1回小・中学生発明くふうコンテスト	9月18日～22日	浜松科学館 ホール	浜松経済クラブと共催。
櫻場賞授与	11月3日	（授与式中止）	理科自由研究の応募作品の中から優秀作品を顕彰。

⑤ 児童・生徒等に対する相談の実施

小・中学校の児童・生徒をはじめとする市民の科学や理科に関する相談に対し、助言等を行いました。

月日	担当	質問・相談内容/方法	対応・回答
7月25日	サイエンスチーム	（電話） NHK ウィークエンド中部で放送された「割れにくい巨大なシャボン玉」の内容について	テレビでは伝えきれなかった詳細な情報を伝えました。
7月31日	天文チーム	（プラネタリウム観覧者） 笹ヶ瀬隕石について	笹ヶ瀬隕石の成分について回答しました。
8月6日	サイエンスチーム	（電話） 季節による騒音の違いについて	音と気温の関係をヒントに、再度検証してみるように促しました。

月日	担当	質問・相談内容/方法	対応・回答
8月7日	サイエンスチーム	(来館) 自由研究のまとめ方について(みそづくり)	まとめ方(考察の仕方)をレクチャーしました。
8月9日	サイエンスチーム	(電話) 自由研究の実験方法について	家庭でできる実験方法についてレクチャーとアドバイスを行いました。
8月10日	サイエンスチーム	(電話) 電子顕微鏡を用いて自由研究の観察を行いたい。	アクティブ展示解説の一環として、観察を可能とする旨を伝えました。
8月19日	サイエンスチーム	(来館) 天竜川下流域の岩石について(自由研究)	基礎的な考え方のレクチャーと地質に関する書籍やウェブサイト等を紹介しました。
8月20日	事業企画グループ	(メール) 天竜川の上流域で採集した岩石の同定依頼。	地学の専門家の協力を仰ぎ、回答しました。
9月21日	サイエンスチーム	(電話) NHK・ウィークエンド中部で放送された内容について	声で動く工作について、詳しく解説しました。
11月11日	サイエンスチーム	(来館) 教員グループで行っている科学教室(代表:豊橋市立西郷小学校校長)の実験内容の相談	現在行っている実験の困難な部分へのアドバイスや新規の実験材料の提供を行いました。

⑥ 学校・公的機関の研修、実習等への対応

学校や教育委員会等の教育関係機関等の公的機関が行う研修、実習等を積極的に受け入れています。

(参照:P43 VIII 資料2「2020年度イベント・講座実施状況 教育機関関連事業」)

- ◎市内小・中学校の依頼による、教職員を対象とした社会教育施設研修(1名)
- ◎中学生の職場体験(4校 計25名)
- ◎大学の博物館・社会教育施設実習(1名)

⑦ 幼稚園・保育園の利用への対応

幼稚園・保育園に対し、幼児向けの投映等を実施しました。(参照:P13「5 プラネタリウム」)

(2) 教育関係機関等との連携

浜松市内の教育関係機関、研究機関、企業等と連携し、講座や展示を行いました。

名称	開催時期	場所	実施内容
IT キッズプロジェクト 講座	9月13日、27日	浜松科学館 セミナールーム ホール	浜松 IT キッズプロジェクト推進会議主催の講座が浜松科学館を会場として行われました。
静岡から始めよう 海とプラスチックを考 える展	11月21日～30 日	浜松科学館 1F 出口ゲート付近	常葉大学の卒業制作作品を展示しました。
星のランプの展覧会	1月9日～24日	浜松科学館 1F 出口ゲート付近	静岡文化芸術大学主催のイベント。 病院にいる子供たちに、アートで癒しや楽しさを届ける「ホスピタルアート」の活動を紹介しました。
擬態する昆虫を探そ う！	1月23日	静岡県立森林公園	静岡県立森林公園と共催のイベントで、スライドを用いたレクチャーを実施し、森林公園で見られる擬態昆虫を紹介しました。
ゆめいっぱい小学生 宇宙絵画展	1月29日 ～2月11日	浜松科学館 1F 出口ゲート付近	浜松市天文台主催のイベントに協力し、最優秀作品を展示しました。
浜松デザインカレッジ 作品展	2月23日 ～3月9日	浜松科学館 1F 出口ゲート付近	「浜松科学館に若者をよぶための施策・デザイン」をテーマに制作した浜松デザインカレッジの生徒の作品を29点、館内に展示しました。
やらまいかテクノロジー コーナーの設置	① 4月～6月 ② 7月～10月 ③ 11月～2月	浜松科学館 常設展示室 2F やらまいかストリート	①橋本螺子株式会社 「ねじブロック」 ②SUS 株式会社 「工場のなかの『はこぶ』いろいろ、動物をつくってみよう」 ③株式会社ミダック 「えっ！すごい！！誰も知らないゴミの世界」



星のランプの展覧会



ゆめいっぱい小学生宇宙絵画展



浜松デザインカレッジ作品展



株式会社ミダック

(3) その他（研究機関や科学館との連携事業等）

① 研究機関等との連携

科学に関連した研究機関との連携による調査研究や学会での発表、出版物を作成し、来館者が科学・技術に関する最新の知見に触れる機会を創出しました。

名称	月 日	内 容
第 68 回日本生態学会大会	3 月 17 日～21 日	「草原の時間的連続性が地表徘徊性甲虫群衆に与える影響」 日本野鳥の会、筑波大学、神戸大学、大阪市立自然史博物館 共同研究・共同発表



② 全国の科学館との連携・協力

当館が加盟している日本博物館協会、全国科学博物館協議会、全国科学館連携協議会等の会合に参加しました。また、他の科学館、博物館との連携等を図りました。

名 称	開催時期	実施内容
日本一周サイエンスショー リレー	7 月～8 月	（動画投稿） コロナ禍で「科学館でできることはないか」との思いから、全国の科学館をサイエンスショー動画でつなぐ試みを行いました。当館の職員も実行委員として参加し、ショー動画を 4 本投稿しました。のべ 35 館が参加しました。
日立サイエンスショーフェスティバル	8 月 30 日	（動画投稿） 本来出演予定であった、第 28 回日立サイエンスショーフェスティバルに動画投稿という形で参加しました。
（公財）日本博物館協会 全国大会	11 月 25～26 日 （横浜市開港記念 開館）	COVID-19 における博物館の新たな取組み、今後の運営の在り方、防災・減災への対応等を中心に発表、分科会が行われました。
全国科学館連携協議会 東海ブロック研修会	2 月 17 日 （オンライン開催）	（研究発表） COVID-19 による臨時休館中に配信したおうち DE みらいーらの背景や撮影のコツをまとめた「80 本動画投稿の背景」というテーマで研究発表を行いました。
全国科学博物館協議会 研究発表大会	2 月 26 日 （オンライン開催）	（研究発表） 「動画コンテンツ等のオンライン配信による新たな価値創造の取組み」というテーマで発表を行いました。こちら、おうち DE みらいーらの投稿から見てきた科学館における動画コンテンツの在り方、活用方法などについて研究しました。

③ 他機関や他のイベントとの連携による賑わい創出

静岡県繊維協会と連携して実施した「注染・ゆかたコレクション in みらいーら」は7月の夜の科学館と同日開催とし、当日は職員も浴衣を着用して業務にあたりました。11月には、生産者団体の浜松PCガーベラと浜松やらまいか大使の天玲美音さんの協力で、浜松市の特産ガーベラの魅力をPRするイベント「HAMAMATSU happy ガーベラ in みらいーら」を開催しました。また、自主事業によるサイエンスパークの活用でキッチンカーを誘致しました。

名 称	開催時期	実施内容
注染・ゆかたコレクション in みらいーら	7月17日～19日	浜松学芸中学校・高等学校による浴衣ファッションショー（17日）、二橋染工場による注染染めの体験イベント（18、19日）を開催しました。 
HAMAMATSU happy ガーベラ in みらいーら	11月22日	浜松市の特産ガーベラの魅力をPRするイベントを開催しました。また、イベントの一環として「みおんとうえちゃんの夫婦円満サイエンスショー」を実施しました。 

④ 市中心部のイベントとの連携

COVID-19感染予防対策のため、市中心部のイベントはほとんど実施されませんでした。浜松・浜名湖 Tourismusビューローが実施した浜松市内の観光施設を周遊するデジタルスタンプラリーや遠州鉄道・天竜浜名湖鉄道「沿線満喫！クーポン券」利用施設にエントリーし、中心市街地への回遊性を高めるための取り組みを推進しました。

⑤ 近隣駐車場の提携利用

提携駐車場（イタクパーキング）利用者に一定額（150円）の割引チケットを提供しました。

2020年度実績：1,600枚（※常設展・プラネタリウム観覧者対象）

8. ボランティア活動支援

科学館活動のパートナーとして市民ボランティアと連携し、科学を楽しむ地域文化の創造を目指しています。

① 募集・面談・登録・研修

2020年4月1日～5月29日に募集を行いました。6月27日、28日に個別に面談したのち、一般ボランティア9人、ジュニアボランティア（中学生・高校生）26人が登録、7月11日、12日のオリエンテーションを経て、7月18日から活動を開始しました。

（※5月17日に予定していたボランティア説明会は COVID-19 感染拡大防止の観点から中止）

② ボランティア活動の場

来館者とのコミュニケーション、展示解説、ミニワークショップの運営をスタッフと共に実施しました。2020年度から自然観察園の整備活動を開始し、景観の美化、樹木の管理維持として低木の伐採やごみ拾いを実施しています。また自然観察園内の生物の観察、職員による講義などに参加しました。



③ 活動実績

年間で延べ90日、延べ148人参加しました。

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動日数（日）	0	0	0	5	23	8	6	10	10	12	8	8	90日
一般	0	0	0	4	11	5	4	6	7	8	7	3	55日
ジュニア	0	0	0	5	20	6	4	9	8	9	7	8	76日
参加人数（人）	0	0	0	20	19	15	18	13	18	15	14	16	148人
一般	0	0	0	6	6	6	6	5	5	4	6	5	49人
ジュニア	0	0	0	14	13	9	12	8	13	11	8	11	99人

④ 活動評価（ボランティア活動満足度調査：回答者 29 人）

ボランティア活動の評価指標として、以下 6 項目についてアンケートを行いました。

1. 達成感・充実感を味わえた
2. 知識や経験が豊かになった
3. 価値観を共有できる仲間ができた
4. 地域・社会に対する貢献ができた
5. 地域の人々とのつながりができた（あるいは感じた）
6. 地域への愛着心が深まった

参加回数が多い人ほど達成感を得られ、知識・経験が豊かになったと感じており、充実感を味わえたようです。また「浜松科学館に関わることで、多くの最新情報に触れることができた」（一般）、「科学の実験や工作、遊びは人と人をつなぎ、笑顔にするのだと思った」（ジュニア）、「学校の先生や親、血縁者以外で大人と接することがあまりなかったが、地域の人や職員と話ができて楽しかった」（ジュニア）などの感想から、ボランティア活動に参加することにより、科学の最新の知見が得られるとともに、来館者とのコミュニケーションを通して、地域社会とのつながりを感じたスタッフが多くいました。

次年度の継続更新希望者は一般 9 人、ジュニア 16 人（計 25 人）。2021 年度の活動については、アンケートで得られた今後の活動への希望や改善点を参考にしながら、さらに充実したボランティア活動を支援していきます。

9. 調査・研究および収集・保存

年間を通じて浜松科学館自然観察園の生物の分布調査を行いました。その結果を「自然観察園生き物マップ」として出口ゲート近くに掲示し、多くの来館者に観覧いただきました。8月から毎月1回ボランティアとともに自然観察園の整備活動を行い、植物の遷移や外来生物の問題を生態学の野外実習の位置づけで教育普及を行っています。さらに、9月よりnoteで自然観察園の生き物観察をテーマにした連載を開始し、計29本の記事を執筆しました。

また、浜松野鳥の会に協力を得ながら、野鳥のミニガイドブックを3冊作成しました。ウェブサイトからダウンロードすることができます。

筑波大学、神戸大学、大阪市立自然史博物館との共同研究で、長野県内の草原の動植物を調査し、草原の歴史が昆虫群集へ影響を与えることを明らかにしました。本研究は第68回日本生態学会大会で共同発表しました。

(note)

(野鳥ミニガイドブック)



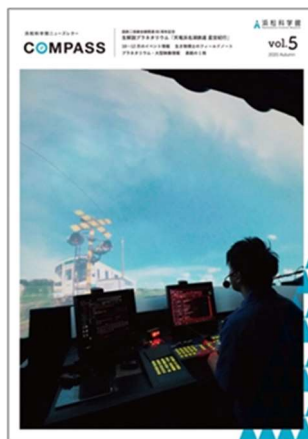
10. パブリックリレーションズ

利用者の視点に立ち、事業目標に則した発信を行うことで、利用者の満足度向上や地域と科学館とのより良い関係づくりができるよう努めました。来館を促進する広報活動として、前年度に引き続き複合的な媒体を用いた発信を行ったほか、2020年度は Web コンテンツの充実や地元 Web メディアとのコラボレーション、浜松市天文台と「星空案内」の共同発行に新たに取り組みました。アンケート調査の結果（参照：P46 VIII 資料 3 利用者アンケート集計結果）から、利用者の高い満足度を維持できていると考えられます。

◆ 紙媒体

事項	内容
科学館ニュースレター COMPASS	科学館の事業の全体的な広報を行うため、浜松市、磐田市、湖西市、掛川市、袋井市、森町※の小学校の全児童に配布。また、館内や市内公共施設等で配架。 第4号 74,420部（7月発行） A4判×6ページ三つ折り 第5号 87,218部（10月発行） A4判×6ページ三つ折り 第6号 87,218部（12月発行） A4判×6ページ三つ折り 第7号 87,218部（3月発行） A4判×6ページ三つ折り ※掛川市、袋井市、森町は第5号から配布
科学館リーフレット	2020年10月にデザインを刷新。来館者を中心に配布しました。
星空案内	浜松市天文台との共同編集で、2020年8月号より月に一度発行 8～12月 2,500部/月 A3判二つ折り 1～3月 2,700部/月 A3判二つ折り

(科学館ニュースレター COMPASS)



(科学館リーフレット)


(星空案内)



事項	内容
ポスター、フライヤー	科学館の催し等の集客を目的とし、ポスターおよびフライヤーを発行しました。 ・ポスター4種 計 1,864 枚 ・フライヤー3種 計 8,000 枚



◆ ウェブ媒体

事項	内容
公式ウェブサイト	<p>ブログ等の更新や内容の定期的な見直しを行うことで、動きのあるサイトの維持を図りました。Web コンテンツ（展示ストーリーブック）を新設し、サイトからアクセスできるようにしました。</p> <p>サイトへのアクセス動向は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザー数 129,667 ・セッション数 325,657 ※セッション：ウェブサイトへの訪問のこと ・平均ページセッション数 4.07 ・平均セッション時間 2:44 <p>（※4月1日～3月31日の集計）</p> <p><参考> 4月1日～6月1日の臨時休館中のユーザー数は11,301</p> 
公式 SNS アカウント	<p>Twitter、Facebook、Instagram、YouTube の公式アカウントを通じて、催しの様子などを発信し、科学館への愛着醸成を図りました。</p> <p>また、臨時休館期間中には特別企画として動画配信を行い、ウェブを通じて科学館事業を展開しました。</p>

◆ バブリシティ (※詳細は P56 資料参照)

項目	件数	内訳
テレビ・ラジオ	55 件	テレビ：29 件、ラジオ 26 件
新聞・雑誌	79 件	新聞：63 件、雑誌 16 件
ウェブ	34 件	TV 系：4 件、新聞系：13 件、その他：17 件

◆ 広告

広告	3 件	新聞：3 件
----	-----	--------

(静岡新聞びぶれ)



11. 視察・調査

静岡県内外の行政視察や科学館関係者、学校関係者等の視察・調査の対応をしました。

区分	団体名・名称
行政・議会	静岡県くらし・環境部県民生活課、廃棄物リサイクル課、静岡県スポーツ・文化観光部観光政策課、NPO 法人こども未来
科学館等	中部電力浜岡原子力館、川口市立科学館
学校(総合学習、理科教員視察等)	静岡文化芸術大学、静岡大学教育学部付属浜松中学校
その他	浜松市消防局(南消防署 立ち入り検査・文化財防火デー視察)、アクトシティ活性化委員会、アズマ工業株式会社、レワード株式会社、テイボー株式会社、トリンク株式会社、静岡県観光協会

IV 維持管理業務

1. 科学館の維持保全業務

① 施設維持管理業務

来館者に満足してもらうための快適かつ機能的な環境を継続的に提供することを目的に、予防保全を基本とし、中長期的な視点からライフサイクルコストの低減に努めました。公共施設、社会教育施設としての施設特性を踏まえ、その目的の達成を施設維持管理面で支えるため、予防保全の考え方に基づいて業務を行います。

② 業務実績

分類	分類	項目	仕様	2020												2021			備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
設備運転管理業務	設備運転管理業務	日常設備管理、残留増表測定		1~30	1~31	1~30	1~31	1~31	1~30	1~31	1~30	1~28	1~31	1~28	1~31	常駐業務			
1.建物管理業務	1.建物管理業務	特殊建築物定期調査	建築物調査	奇数年実施(次回2021年度)												2年1回(奇数年)			
		建築設備定期点検	換気設備検査				28			2,3							年1回		
			非常用照明装置検査				3			2,3							年1回		
			防火設備点検							28							年1回		
2.設備点検業務	2.設備点検業務	昇降機点検		1~30	1	15	1~31	1~31	1	1~31	1~30	7	1	1	17	年9回(1~10月)・4回定期点検			
			自動ドア保守点検		15			8			8			27			年4回		
			吸気式冷凍機保守点検(70E-1)			25-28			17			11/2,9			1		年4回		
			空調設備	パッケージエアコン		25-28						11/2,9					年2回		
				空調機		25-28						11/2,9					年2回		
				ファンコイルユニット		25-28						11/2,9					年2回		
				全熱交換器		25-28						11/2,9					年2回		
				ポンプ		25-28						11/2,9					年2回		
				送排風機		25-28						11/2,9					年2回		
				その他の点検(フロ)						17						1	フロ漏洩点検年4回		
				フィルター清掃		25-28				17		11/2,9				1	年4回		
				空調自動制御機器点検		25-28						11/2,16-19					年2回		
				消防設備点検	機器点検						2						年1回		
				総合点検												15	年1回		
				防火対象物点検							2						年1回		
				自家用電気工作物保守(電力「マト」監視)	保守点検	7	7	9	6	6	3	2	9	4	26	15	4	年12回	
			年次検査											27		年1回			
		非常用発電機保守点検														年1回			
		監視カメラシステム保守点検									9					年1回			
	3.環境衛生管理業務	受水槽清掃				22										年1回			
3.環境衛生管理業務		雑排水槽清掃					22							28		年2回			
		害虫駆除・鼠防除管理	建物全域/飲食スペース	22	22	25	29	27	25	28	26	24	27	26	25	年12回			
		簡易専用水道検査				22										年1回			
		水質検査	水質検査全項目(16.12)			17										年1回			
		令和3年1月7日に新型コロナウイルス感染症緊急対策項目(11)				17										年1回			
		ばい塵濃度測定			27											年2回			
		レジオネラ菌検査			17		26									年2回			
		空気環境測定		23		10		18		13		9		4		2ヶ月1回			
		建築物環境衛生管理技術者選任		1~30	1~31	1~30	1~31	1~31	1~31	1~31	1~30	1~28	1~31	1~28	1~31				

※各月内の数字は実施日

③ 屋外緑地管理業務

サイエンスパーク、自然観察園、サイエンス農園等の緑地管理を行い、樹木の剪定・伐採、雑草除去、ニュートンのリングの木・醍醐寺のクローン桜、うなぎいも等の生育を図って、周辺環境の向上、美観の保持、及び事業活用に供しています。

2. 特殊機材・展示品等保守管理業務

① プラネタリウム機器の保守管理業務

プラネタリウム機器を常に正常な状態に保ち、最適な環境の下で安定的に投映を行うことができるようにするために、日常点検を行うとともに、故障やトラブルを未然に防ぐための定期保守点検を行いました。また、不具合が生じた場合は、速やかに復旧させるために、補修や部品交換等の適切な処置を迅速に行っています。

内 容		実施日
1	作動点検 (光学式プラネタリウム、デジタルプラネタリウム、プロジェクター 等)	5月26日～27日
2	総合点検 (光学式プラネタリウム、デジタルプラネタリウム、プロジェクター 等)	10月6日～7日
3	デジタルシャッターユニット修理 (光学式プラネタリウム)	6月29日

② 展示アイテム・ホール設備の保守管理業務

内 容		実施日
1	展示映像機器点検作業 (映像・音響装置、プロジェクター、PC、タブレット端末等調整・動作点検)	適時
2	展示装置・造形物点検作業 (調整・動作点検、目視点検)	適時
3	屋外遊具点検作業 (調整・動作点検)	適時
4	ホール舞台照明・吊物設備保守点検	3月31日
	ホール舞台音響設備保守点検	3月31日

3. 什器・備品等保守管理業務

浜松市物品管理規則（昭和40年規則第18号）に基づき、備品台帳を整備し保守・修繕等を、随時行い適切に管理しています。

4. 清掃・警備・防災関係業務

(1) 清掃業務

- ① 日常清掃 日単位の短い周期で日常的に行う清掃業務
- ② 除菌清掃 COVID-19 感染防止対策のために行う清掃業務
- ③ 定期清掃 月1回定期的に行う清掃業務
- ④ 巡回清掃 1日1回の日常清掃と共に補完的な清掃業務
- ⑤ 補給作業 資機材や衛生消耗品の不足を確認し、常に補給を行う作業

(2) 警備業務

機械警備業務を実施し、夜間・休館日の警備に対応しました。

(3) 防災関係業務

災害に備えて防災対策を図るとともに、本施設が被災した場合には、直ちに補修等の措置を講じられるよう、設備管理業務協力会社との定例会議を開催し、施設の機能維持に努めています。

項目	実施期間	備考
建築設備点検	9月2日	建築基準法第12条に係る建築・設備の法定検査 (浜松市所管課への報告)
防火対象物点検	9月2日	消防法第8条の2の2に基づく消防署への点検報告 制度
消防用設備等点検(総合点 検)	2月15日	消防法第17条に基づく消防署への点検報告制度
避難誘導訓練	10月7日 1月28日	消防計画書に基づく特定防火対象物の総合訓練
防災教育	1月28日	消防計画書に基づく教育活動 浜松市危機管理課の協力(HUG訓練)

- 防火権原者及び防火管理者の選定と「浜松科学館消防計画」の策定(浜松消防署に提出)
- 避難誘導マニュアルの作成と自衛消防隊の編成
- 災害時や警報発令時の参集基準、方法の設定(緊急連絡網の整備)
- 緊急事態に備えた教育・訓練の実施－危機管理マニュアルに基づく総合避難訓練の実施(年間2回)
- 消防署による避難誘導訓練、消火器使用訓練の実施
- 浜松市危機管理課の指導による避難所運営訓練(HUG訓練)

(4) 安全管理

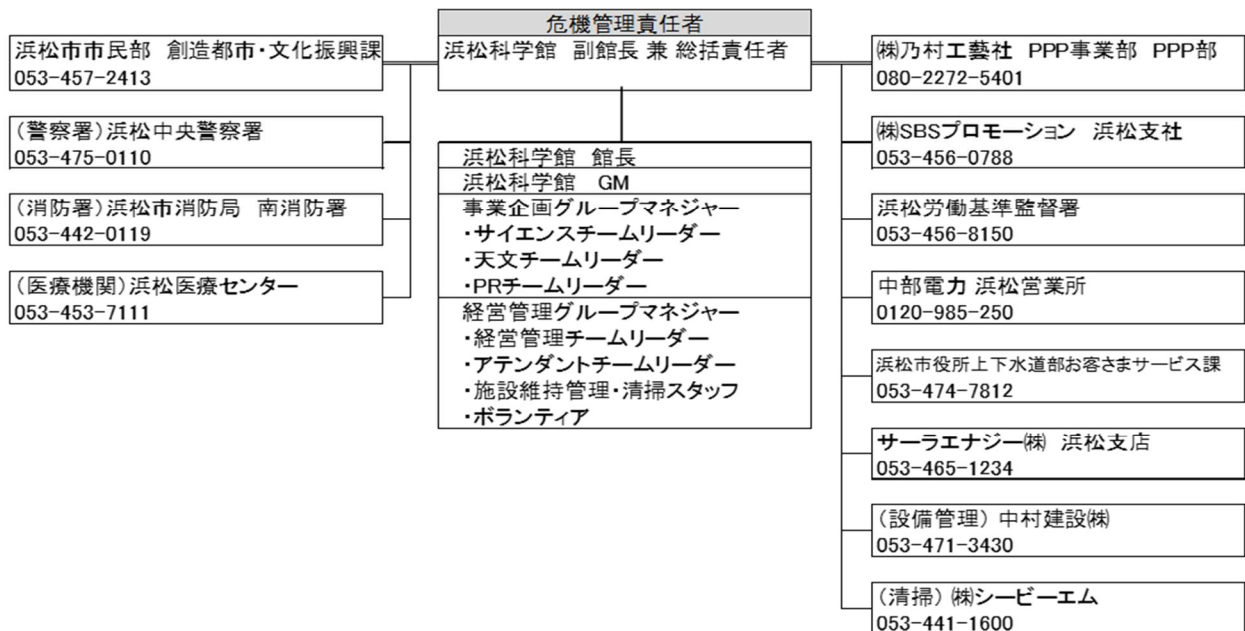
① 安全対策の基本的な考え方

来館者の安全を確保するために、前項（3）防災関係業務に基づき、施設内での事故・災害・盗難・不正・破壊等を未然に防止するよう図っています。特に、日常的な施設の施錠開閉及び入退室者の管理を行うとともに、来館者に対して細やかな心配りにより安全を確保し、危険な事態や火災・盗難等の早期発見と拡大防止に努め、災害や事故に強い施設づくりに取り組みました。

④ 緊急時の対応体制

災害等の発生時には危機管理責任者を中心に連絡体制を整え、浜松市の関連部署と連携を密にした指揮命令系統をつくり、対策にあたります。

<緊急時連絡体制>



5. 修繕工事に関する業務

区分	件数	主要事項の概要	対応状況
故障・不具合	27件	①サイエンスパークデッキ バナーサイン撤去 ②スプリンクラー修理 ③プラネタリウム・コンソール排煙装置補修工事 ④サイエンスラボ エアコン動作不良（1基） ⑤2F屋上AC-5空気調和機（故障ランプ点灯後停止） ⑥プラネタリウムデジタルシャッターユニット修理 ⑦ホールエアコン工事 ⑧科学館3Fホワイエ電気室内点検用設備設置工事 ⑨2Fカコーナー東側床面の漏水 ⑩サイエンスパークインターロッキング補修工事 ⑪天のリバー補修工事 ⑫霧のステージホース補修工事 ⑬屋外空調機ダンパー交換 ⑭ガラス扉鍵交換 ⑮プラネタリウムレール取付 ⑯カフェ排水ポンプモーター・配電盤取付工事 ⑰非常用発電機、非常用発電ポンプ点検整備 ⑱学習室点検口設置 ⑲キッズサイエンスランド防火スライドドア工事 ⑳機械室裏 倉庫ドア取付 ㉑2F多目的トイレ アナログ鍵取り外し工事 ㉒2F光ゾーン付近非常扉鍵工事 ㉓キッズルーム点検用タラップ取付工事 ㉔1F東口防火ダンパー点検口設置 ㉕2階ドレン配管及び点検設備改修工事 ㉖2F音コーナー防火シャッター整備 ㉗ものづくりラボ机補修工事	浜松市所管課に報告の上、指定管理者が実施した修理等 27件
損傷・破損	2件	①サイエンスパーク三角コーン破損 ②サイエンスパークホロライト破損	①②浜松市に報告

6. 事故・苦情等の対応状況

区分	件数	内容	対応状況
事故・事件	10件	①体調不良・けが 8件 ②放置自転車 2件2台 ③拾得物処理	①救護室で対応（安静） ②,③所管警察署に届け出
意見・苦情等	2件	①プラネタリウム発券終了に係る苦情 ②プラネタリウム途中退場を促す際の対応への苦情	館内スタッフへの共有、利用者への説明

V 施設貸出

(1) 業務概要

浜松市スポーツ・文化予約システム（まつぼっくり）による施設の利用申請を受付け、利用許可を行い、利用料金を徴収しました。

(2) 貸室料金等

① 利用可能時間

9:30 から 21:30 までを貸出時間とします。（準備、片付け、原状復帰の時間も含む）

② 対象施設と利用料金（消費税及び地方消費税額含む）

対象施設	利用区分		9:30～10:00 及び 21:00～21:30	10:00～21:00 1時間につき
ホール	教育関係団体	入場料徴収なし	470円	940円
		入場料徴収あり	940円	1,880円
	その他	入場料徴収なし	940円	1,880円
		入場料徴収あり	1,880円	3,770円
セミナールーム A	教育関係団体	入場料徴収なし	160円	320円
		入場料徴収あり	320円	640円
	その他	入場料徴収なし	320円	640円
		入場料徴収あり	640円	1,290円
セミナールーム A	教育関係団体	入場料徴収なし	160円	320円
		入場料徴収あり	320円	640円
	その他	入場料徴収なし	320円	640円
		入場料徴収あり	640円	1,290円

※椅子や机等の備品の貸出の他、音響、照明、冷暖房装置等の備品は有料での貸出を行います。

(3) 貸出実績

施設区分	利用団体区分	件数	利用者数（人）	利用料金（円）
ホール	一般	10団体	853人	148,869円
セミナールーム	一般	12団体	212人	29,080円
合計		22団体	1,065人	177,949円

VI 収支報告

1 収入

(単位：円)

区分	内 訳	予 算	決算額	執行率	差 引
(A) 収入合計 (税込み)		216,668,000	199,308,763	92.0%	△ 17,359,237
1 指定管理業務委託料	指定管理料140,525,000円 (税込) 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う指定管理料の増額分25,168,000円 (税込)	165,693,000	165,693,000	100.0%	0
2 利用料金		49,975,000	32,030,649	64.1%	△ 17,944,351
入場料・観覧料等	常設展示・プラネタリウム等観覧料	46,255,000	30,177,980	65.2%	△ 16,077,020
特別展入場料	夏の特別展入場料	0	0	0.0%	0
貸館使用料	ホール、セミナールーム貸室料	240,000	170,969	71.2%	△ 69,031
その他収入 (受益者負担金)	情報端末貸出料	120,000	1,000	0.8%	△ 119,000
	みらいーらカード発行料	960,000	115,700	12.1%	△ 844,300
	参加費・材料費	2,400,000	1,565,000	65.2%	△ 835,000
3 補助金、協賛金等		1,000,000	1,585,114	158.5%	585,114

2 支出

(単位：円)

区分	内 訳	予 算	決算額	執行率	差 引
(B) 支出合計		185,839,000	199,946,110	107.6%	△ 14,107,110
1 事業運営業務費		12,920,000	12,576,617	97.3%	343,383
常設展示運営費	保守点検、管理経費等	1,000,000	753,621	75.4%	246,379
プラネタリウム運営費	番組制作・借上料、保守点検、管理経費等	8,200,000	8,710,537	106.2%	△ 510,537
特別展・企画展運営費	企画料、製作費等	0	280,500	0.0%	△ 280,500
教育普及事業費	ミニワーク、サイエンスショー材料費等	3,720,000	2,831,959	76.1%	888,041
2 広報業務費		4,500,000	5,491,060	122.0%	△ 991,060
広報費、印刷費	広告媒体費、宣材印刷費等	4,500,000	5,491,060	122.0%	△ 991,060
3 施設運営業務費		127,790,000	135,895,793	106.3%	△ 8,105,793
管理運営人件費	常勤・臨時職員給与等	115,200,000	124,313,376	107.9%	△ 9,113,376
運営事務費	旅費、消耗品、事務機器等借上料、保険料等	12,590,000	11,582,417	92.0%	1,007,583
4 施設維持管理業務費		31,680,000	36,393,060	114.9%	△ 4,713,060
維持管理業務委託費	清掃、設備管理、保守点検等委託料	29,180,000	32,962,270	113.0%	△ 3,782,270
その他施設管理費	安全管理、修繕料等	2,500,000	3,430,790	137.2%	△ 930,790
光熱水費		0	0	0.0%	0
5 公租公課		100,000	316,580	316.6%	△ 216,580
公租公課	消費税、法人事業税等	100,000	316,580	316.6%	△ 216,580
6 一般管理費		8,849,000	9,273,000	104.8%	△ 424,000
一般管理費	バックオフィス事務経費等	8,849,000	9,273,000	104.8%	△ 424,000
収支 (千円) (A) - (B)		30,829,000	△ 637,347	—	

Ⅶ 自主事業

1. 必須の自主事業

(1) ミュージアムショップ

① 事業方針

事業活動と一体的に企画・運営し、利用者の科学への興味関心を高め、帰宅後にさらに学びを深めることを支援するための商品を選定し、販売を行いました。

② 概要

営業日数	開館日と同じ
営業時間	11:00～17:00（夏季休暇期間は18:00まで）

③ 実施業務

事業と連動し、来館者の能動的な学びを支援するグッズや地元浜松の企業関連製品を販売し、オリジナル商品を開発しました。特に、宇宙食や実験キットは来館者に好評をいただきました。

また、地元企業と連携して、静岡県繊維協会や浜松の手作り作家の商品を販売する「浜松マーケット」、浜松の企業の商品を期間限定で販売する「ポップアップストア」を開催しました。

業 務	内 容
グッズ販売	① 常設展示のテーマ（光、力、音、自然、宇宙）やプラネタリウムに関連した教材、実験・工作材料、書籍、文具などのグッズ販売 ② 企画展のテーマに関連した書籍、工作キット、教材などのグッズ販売 ③ 実験や工作のキットや道具、材料等の販売
浜松マーケット	① 静岡県繊維協会関連商品の販売（遠州織物マスク、注染染めてぬぐい 等） ② 手作り作家の商品（アクセサリー・布小物・紙けん玉 等）
ポップアップストア	株式会社栄商会商品の販売 （遠州綿紬ふえいすスタンド、アニマルクリーナー 等）
オリジナル商品の開発・販売	① 地元企業の技術や製品を用いたオリジナル商品の販売（注染染め手ぬぐい） ② 浜松科学館オリジナルデザイン商品の販売（オリジナル12星座クリアファイル、ミニタオル 等）



(2) カフェ

① 事業方針

地域の事業者によるカフェ事業を展開し、科学館のアメニティーとしての価値を高める飲食サービスを提供しました。また、「サイエンスライブラリー & カフェ」として、図書の閲覧、絵本の読み聞かせ、科学をテーマにした講座（トーク・オブ・ワンダー）など、科学館事業と連携しながら運営を行いました。

② 概要

営業日	7月7日～3月31日
臨時休業	4月1日～7月6日（臨時休館等による休業）
営業時間	11：00～17：00（夏季開館時間延長期間は18：00まで）
席数	60席
制限について	COVID-19感染拡大防止の観点から席数を30席に減らして営業

③ メニュー

地域の食材を活かし、発酵食品などのオーガニック食材により大人も子どもも安心して食べられるメニューを提供。また、科学の要素を取り入れたリトマスティーやかき氷などのオリジナルメニューも話題になりました。

（メインメニュー：500円～、付帯メニュー：250円～）



(3) 自動販売機

利用者へのサービスのために、館内1Fに2台、2Fに3台、サイエンスパークに1台設置しています。

2. 任意の自主事業

① キッチンカー出店

繁忙期により多くの利用者に地域の飲食が提供できるよう、サイエンスパークにキッチンカーを誘致しました。2020年度は COVID-19 感染拡大の影響で出店数が減少し、地域の賑わい創出は果たせませんでした。浜松市公有財産管理規則（昭和39年規則第30号）第9条の規定に基づき、行政財産の使用許可を得て実施しています。

2020年度実績

出店月	7月	8月	9月	10月	計
日数	10日間	14日間	6日間	5日間	35日間

② プリントシール機の設置

新規に8月から設置し、利用者の来館記念撮影の他、年間パスポート用写真撮影に活用しています。

3. 自主事業の収支

(単位：円)

区分	内容	金額 (税込)	備考
収入	ショップ売上	6,729,839円	
	カフェ手数料等	600,995円	売上の5%及び行政財産目的外使用料
	キッチンカー販売手数料等	51,359円	売上の5%及び行政財産目的外使用料
	飲料用自動販売機手数料	792,723円	売上の34~35%
	プリントシール機	33,100円	売上の20%
合計 A		8,208,016円	
支出	行政財産目的外使用料	1,393,337円	カフェ・ガチャ・ショップ・キッチンカースペース・プリントシール機
	消耗品費・什器等備品費	60,554円	ショップ消耗品
	事業委託費	183,700円	ショップ照明器具取付工事費・監理費
	修繕費	198,000円	ショップ会計ソフト改修費
	維持管理委託費	78,650円	年間自動更新保守契約料 (ショップ)
	商品仕入	4,066,251円	買取商品仕入
合計 B		5,980,492円	
収支差引 A-B		2,227,524円	

(注) 支出は、ショップの店舗運営に係る販売管理等の経費を除いたもの。

Ⅷ 資料

1. 2020年度科学館入館観覧者状況
2. 2020年度イベント・講座実施状況
3. 利用者アンケート調査集計結果
4. 浜松科学館と大学・企業との事業連携アンケート調査（評価）結果
5. メディア取材等一覧表
6. 臨時休館中の業務実施状況及び職務体制

1. 2020年度科学館入館観覧者状況

チケット区分			利用者数（人）	構成比	利用料金（円）	構成比	
個人	常設展	有料	大人	17,737	23.0%	10,642,200	37.8%
			中人	747	1.0%	224,100	0.8%
			計	18,484	24.0%	10,866,300	38.6%
		無料	大人	4,252	5.5%	0	0.0%
			中小人	20,449	26.5%	0	0.0%
			計	24,701	32.0%	0	0.0%
		合計	43,185	56.0%	10,866,300	38.6%	
	常設展+ プラネタリウム・大型映像	有料	大人	15,044	19.5%	16,789,040	59.7%
			中人	493	0.6%	272,850	1.0%
			計	15,537	20.2%	17,061,890	60.7%
		無料	大人	5,202	6.7%	0	0.0%
			中小人	13,174	17.1%	0	0.0%
			計	18,376	23.8%	0	0.0%
	合計	33,913	44.0%	17,061,890	60.7%		
観覧券		1,515	—	341,250	—		
割引		—	—	△ 137,720	—		
A 個人合計			77,098	—	28,131,720	—	
団体	常設展	有料	大人	41	0.3%	23,100	13.0%
			中人	531	4.5%	123,210	69.1%
			計	572	4.9%	146,310	82.1%
		無料	大人	468	4.0%	0	0.0%
			中小人	5,837	49.8%	0	0.0%
			計	6,305	53.8%	0	0.0%
	合計	6,877	58.6%	146,310	82.1%		
	常設展+ プラネタリウム・大型映像	有料	大人	30	0.3%	27,500	15.4%
			中人	8	0.1%	4,400	2.5%
			計	38	0.3%	31,900	17.9%
		無料	大人	366	3.1%	0	0.0%
			中小人	4,447	37.9%	0	0.0%
			計	4,813	41.0%	0	0.0%
	合計	4,851	41.4%	31,900	17.9%		
B 団体合計			11,728	—	178,210	—	
個人・団体合計(A+B)			88,826	—	28,309,930	—	
別納分			—	—	0	0	

2. 2020年度イベント・講座実施状況

開催日	種別	名称	参加人数	内容
7月18日～19日	サイエンスラボ	おそとDE顕微鏡	170	屋外（霧のステージ）に双眼実体顕微鏡を設置した観察会。試料とセミの抜け殻を用意し、双眼実体顕微鏡を使い拡大して観察した。細部を見ることで生き物の生態や、分類を推察できることを学んだ。
7月24日 8月7日 9月5日、6日	サイエンスラボ	浜松シャボン玉フェス2020	285	サイエンスパークで数種類のシャボン玉の枠を用意し、各自でシャボン玉を作り楽しんだ。
9月26日～27日	サイエンスラボ	おそとDE顕微鏡	80	屋外（霧のステージ）に双眼実体顕微鏡を設置した観察会。試料としてダンゴムシを用意し、巨大な模型やビッグバットでの拡大投映など、参加者に微小生物への興味関心を抱いてもらうよう工夫した。
10月10日	サイエンスラボ	15分で自然観察 「最強の生き物？クマムシの観察」	8	各回15分、4回実施。 クマムシの生態を紹介したのち、生息環境である苔の採集、顕微鏡でクマムシの観察、写真撮影を行った。最強の生き物として有名なクマムシが、身近に生活していることを体感した。
10月17日、18日 11月3日	サイエンスラボ	天竜川の石でロックバランシングに挑戦！	155	天竜川の石を使って、バランスよく積み上げるロックバランシングに挑戦した。子どもの参加はもちろん、大人も真剣に取り組み、出来た際には歓声があがるほどであった。
10月31日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「液体窒素の実験」	25	各回15分、4回実施。 普段触れることのない液体窒素を使用した実験（葉っぱを凍らせる、液体空気を見る、ロケットを飛ばす等）を行った。
11月14日	サイエンスラボ	15分で自然観察 「土壌生物の生態系ピラミッド」	4	各回15分、4回実施。 落ち葉、土壌から土壌動物を採集し、それらを実体顕微鏡で観察した。土壌動物の多様性を体感するとともに、動物間の活発な相互作用があることを学んだ。
11月21日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「色変わりの実験」	8	各回15分、4回実施。 ムラサキキャベツなどに含まれる色素、アントシアニンを使用して色変わりの実験を行った。砂糖水、お酢、洗剤など身近なものを色ごとに仕分け、酸性アルカリ性を調べた。
11月28日	サイエンスラボ	15分で自然観察 「何種いるかな？チリメンモンスター」	2	各回15分、4回実施。 ちりめんじゃこの中に含まれるイカ、タコ、タチウオ、アジなどを実体顕微鏡で観察した。催しをつづけて、身近な海洋の生物多様性を体感した。
12月12日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「炎色反応の実験」	8	各回15分、4回実施。 炎色反応をテーマにして実験を行った。薬品を6種類準備し、それぞれの反応を楽しんだ。
12月20日～27日	サイエンスラボ	親子でバードウォッチング！	7	親子を対象に、馬込川でバードウォッチングを体験した。貸し出した双眼鏡で野鳥観察を行いつつ、館が作成したミニガイドブック3冊を使って種を同定した。
1月16日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「冬にピツリッ！ほかほかカイロを作ろう！」	20	各回15分、4回実施。 木炭、鉄粉で化学カイロを作成した。この催しのために来館される方もおり、注目度の高い企画となった。
1月30日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「こすって起こせ！静電気」	6	各回15分、4回実施。 この季節に合わせ、静電気の実験を行った。風船と梱包用テープを使い、電気クラゲの実験を行った。少し難しい実験だが、家族で頑張って取り組んでいた。
2月11日	サイエンスラボ	15分で自然観察 「珪藻が描く幾何学模様を観察しよう！」	10	各回15分、4回実施。 天竜川で採集した珪藻を生物顕微鏡で観察した。身近な環境にも豊富な生物の多様性が存在することを体感した。
2月20日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「電池ファクトリー ～3種の食材で電池を作ろう～」	11	各回15分、4回実施。 レモン、タマネギ、たくあんを触媒に電池を作る体験をした。電気が流れ、音源から音楽が流れる様子に参加者は驚いていた。
3月6日	サイエンスラボ	15分で自然観察 「花粉から見る植物たちの生存戦略！」	5	各回15分、4回実施。 タンポポとスキの花粉を生物顕微鏡で観察した。花粉の運び方によって形や数に違いがあることを実感した。
3月13日	サイエンスラボ	15分で科学実験 「拡大してみよう！結晶のかたち」	10	各回15分、4回実施。 塩、ミョウバン、硝酸カリウムの結晶をそれぞれ観察した。形の違いを中心に学んだ。またミョウバンはタネ結晶を持ち帰り、家庭でも継続して実験が出来るようにした。
サイエンスラボイベント 計			814	

開催日	種別	名称	参加人数	内容
8月12日～14日 19日～21日	ものづくりラボ	ペットボトルロケットをとぼそう	245	霧のステージ、サイエンスパークでペットボトルロケットの発射体験を行った。飛距離は安全を考慮し、30m程度としたが参加者からは歓声が上がっていた。
2月27日～28日	ものづくりラボ	みがいて作ろう！ ピカピカ泥だんご	131	事前に陶芸用粘土で球を作っておいたものを、陶器（おちよこ）で磨いて光沢を出す体験を行った。多くの材料を準備したが、完売するほどに人気があった。
ものづくりラボイベント 計			376	
11月22日	サイエンスショー イベント	みおんとうえちゃんの 夫婦円満サイエンスショー	150	「HAMAMATSU happy ガーベラみらいーら」の一環として実施した。天玲氏と上野氏が夫婦に扮し、家庭円満となるようなサイエンスショーを3回、実施した。 ゲスト：天玲美音氏
サイエンスショーイベント 計			150	
9月9日～22日	その他	浜松市小・中学生理科研究作品展	2,126	夏休みに子どもたちが取り組んだ自由研究をホールに展示し、多くの来館者に見て頂いた。 共催：浜松市教育委員会理科研究部
9月18日～22日	その他	第1回発明くふうコンテスト	444	夏休みに子どもたちが取り組んだ発明工作をホールに展示し、多くの来館者に見て頂いた。 共催：浜松経済クラブ
10月1日～31日	その他	みらいーらエコフレンドリー月間	—	浜松市環境部ごみ減量推進課からの委託業務として実施。オンラインシンポジウムほか、ミニワーク、サイエンスショーなどでも関連した企画を行った。
12月5日	その他	パブリックビューイング	28	はやぶさ2のカプセル分離、大気圏突入に合わせて、みらいーらステージにて、パブリックビューイングを行った。初の試みであったが、ステージの特性を活かしたイベントとなった。
12月6日	その他	ふじのくに子ども観光大使講座	39	浜松科学館を体感し、その魅力を発信してもらうための講座として、科学館の説明、サイエンスショー、ミニワークショップ、館内の展示を体験した。
12月25日～26日	その他	トークオブワンダー	41	各回15分、8回実施。 クリスマス時期に合わせて「生き物たちのプロポーズ」をテーマに話題提供した。女子高生や若いカップル層が多く参加し、生き物たちの恋愛模様を面白おかしく学んだ。
1月3日～11日	その他	昔あそび広場	1,843	コマ回し、羽子板、けん玉など昔あそびをホールに準備し、自由に遊ぶ場を提供した。大人が懐かしがりながら、子どもに教える様子も見られ、正月の催しの定番となりつつある。
1月3日～11日	その他	昔あそび広場関連ミニワークショップ 「作って揚げよう！ミニ凧」	239	昔あそび広場に関連し、エアフォームシートを使った凧作りをワークショップとして実施した。室内はもちろん、サイエンスパークで遊ぶ姿も見られた。
1月14日 (～当面継続)	その他	サイエンスワゴン	—	宇宙ゾーンに、ブラックホールシャドウについてまとめた展示物を設置した。
1月9日～24日	その他	星のランプの展覧会	—	静岡文化芸術大学の学生が主催する展覧会。病院にいる子供達に、アートで癒しや楽しさを届ける「ホスピタルアート」の活動を紹介した。 主催：静岡文化芸術大学
1月29日～ 2月11日	その他	第39回ゆめいっぱい小学生宇宙絵画展	—	浜松市天文台の主催のイベントに協力する形で、優秀作品の展示を行った。 主催：浜松市天文台
1月23日	※その他（外部）	擬態する昆虫を探そう！	17	雨天に伴い予定していた野外観察会から屋内での座学に変更した。スライドを用いて生態学的な擬態をレクチャーし、森林公園で見られる擬態昆虫を紹介した。 共催：静岡県立森林公園
3月7日	その他	ロボットまつりイベント 「パイプロボコン タイムアタック」	90	5月に予定している「みらいーらロボットまつり」のイベントを行った。配管の点検用に開発されたパイプロボットで、専用コースを走破するタイムを競った。
3月20日～31日	その他	トークオブワンダー 映画「かぐや姫の物語」に登場するのは何ザクラ？	42	ジブリ映画に登場する動植物を紹介し、色形や生態、時代背景が正確に再現されていることを実感した。例えば、映画に登場したのは江戸時代以降に作られたソメイヨシノではなくヤマザクラであることを紹介した。
その他イベント 計			4,909	

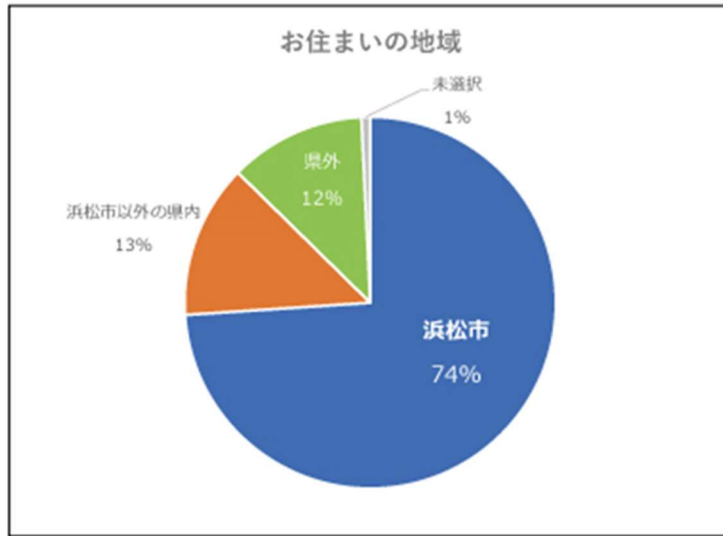
開催日	種別	名称	参加人数	内容
6月18日、25日	教育機関連携	ルネサンス・ベット・アカデミー講師	43	講師：サイエンスチーム 小粥 ルネサンス・ベット・アカデミーの学生に対し、以前に行った「トークオブワンダー」の一部と、展示室内にて講義を行った。18日23人、25日20人。
8月3日～4日	教育機関連携	教員社会体験研修	1	磐田北小学校 1名 教員の社会教育体験の受け入れを行い、当館で研修を行った。各部署の見学、ミニワークの補助などに加え、ショップと地域連携について、指定管理者制度について、ものづくりについての講義などを職員が行った。
9月29日～30日	教育機関連携	生涯学習施設職員及びボランティアのための実技研修会	62	テーマを「身近なもので科学工作」とし、簡単に手に入る紙や、CD、エアフォームシートなどを使って6種の工作を行った。また、材料の加工方法や調達、話し方などを講義した。
10月13日	教育機関連携	GO!GO!サイエンス	63	来年度以降のGO!GO!サイエンスの参考事例として、都田南小学校2年生を対象に都田総合公園にて昆虫の野外観察を行った。バッタをテーマとし、実際に捕まえたバッタを観察しながら、昆虫の生態や体の仕組みを学んだ。
11月4日～22日	教育機関連携	博物館学芸員実習	1	博物館実習 北里大学 1名
11月4日～5日 12日～13日 18日～19日	教育機関連携	職場体験学習	25	天竜中学校 8名 雄踏中学校 7名 富塚中学校 8名 三ヶ日東小学校 2名
11月21日～30日	教育機関連携	常葉大学卒業制作展示	—	常葉大学 卒業制作展示 「静岡から始めよう 海とプラスチックを考える展」
2月3日	教育機関連携	GO!GO!サイエンス	30	聖隷クリストファー小学校に対して、Zoomを使用したサイエンスショーを行った。
教育機関連携事業 計			225	
4月1日～30日	You Tubeによる動画配信	おうちDEみらいーら 第28弾～第53弾	6,660	ユニーク視聴者数：1,087人 総再生時間：250.5時間 平均再生時間：2分15秒
5月1日～30日	You Tubeによる動画配信	おうちDEみらいーら 第54弾～第80弾	7,412	ユニーク視聴者数：1,408人 総再生時間：252.6時間 平均再生時間：2分02秒
合計			6,474	※You Tubeによる動画配信は含まない

イベント種別	人数
サイエンスラボイベント	814人
ものづくりラボイベント	376人
サイエンスショーイベント	150人
その他イベント	4,909人
教育機関連携事業	225人
合計	6,474人

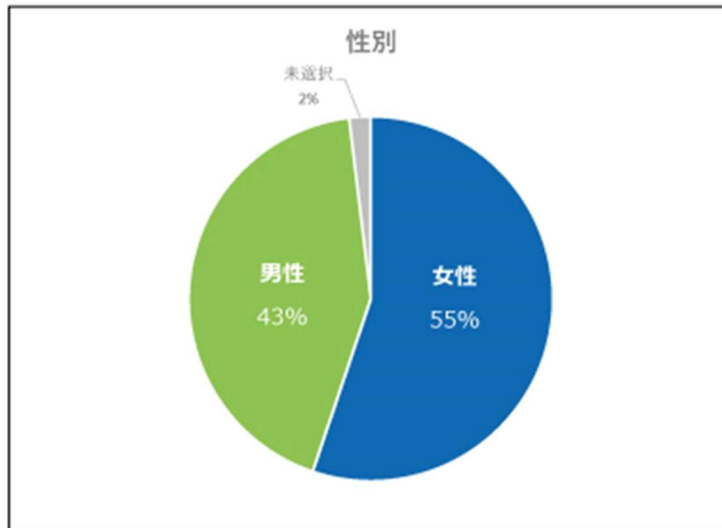
3. 利用者アンケート集計結果

(実施期間：2020年11月3日～2021年3月31日 回答数：261件※ランダムサンプリング)

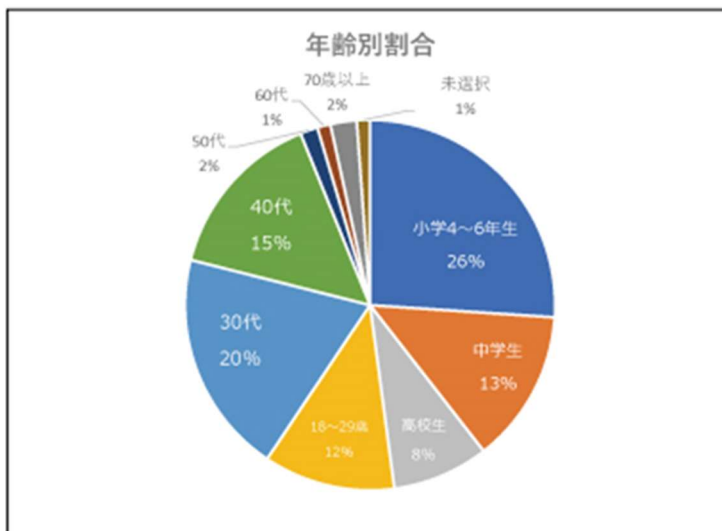
お住まい	
浜松市	193
浜松市以外の県内	35
県外	31
未選択	2



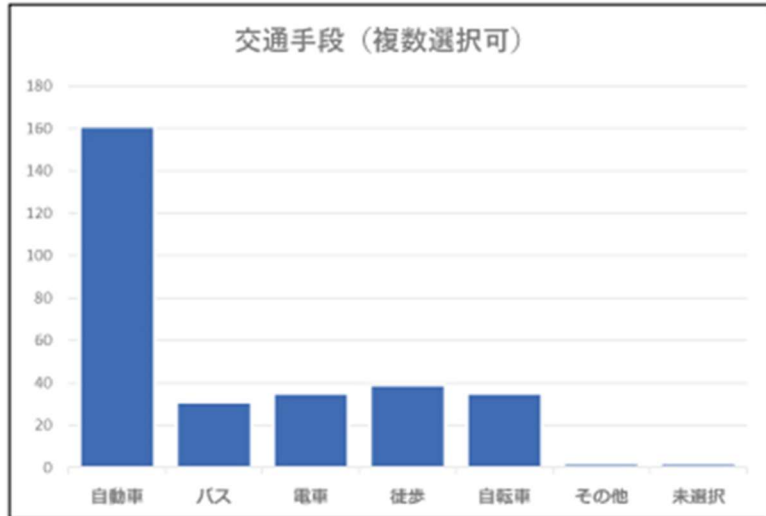
性別	
女性	144
男性	112
未選択	5



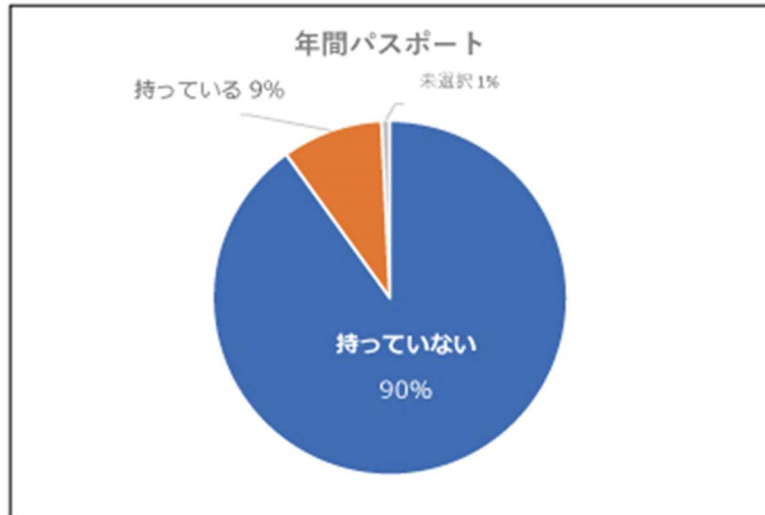
年齢	
小学4～6年生	68
中学生	35
高校生	22
18～29歳	30
30代	51
40代	39
50代	4
60代	3
70歳以上	6
未選択	3



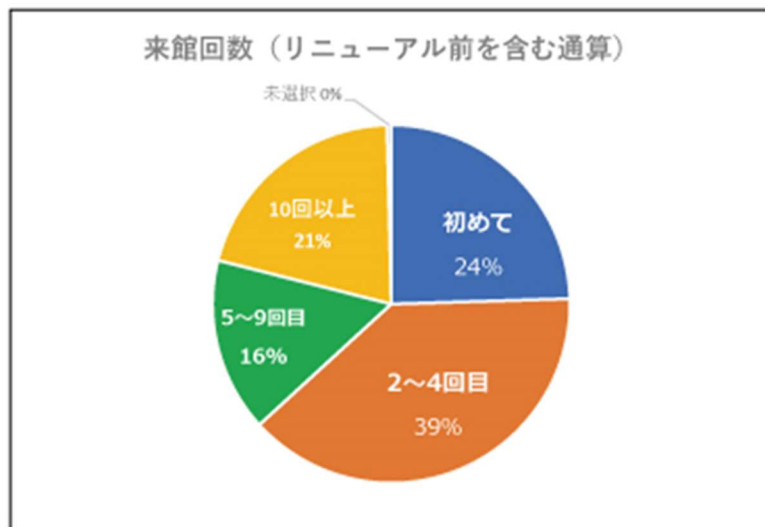
交通手段	
自動車	161
バス	31
電車	35
徒歩	39
自転車	35
その他	2
未選択	2



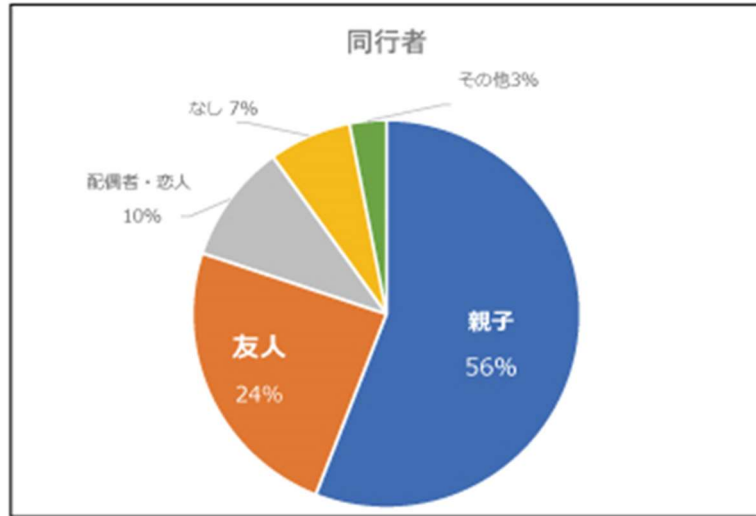
年間バスポート	
持っていない	235
持っている	24
未選択	2



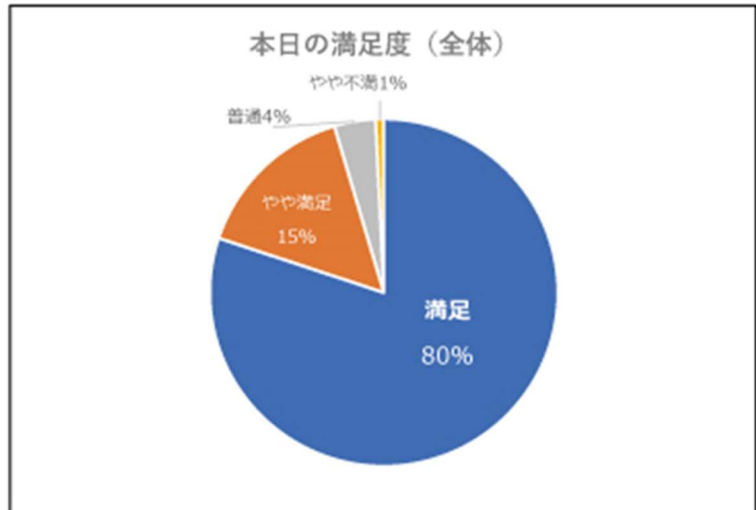
来館回数（リニューアル前を含む通算）	
初めて	64
2～4回目	101
5～9回目	41
10回以上	54
未選択	1



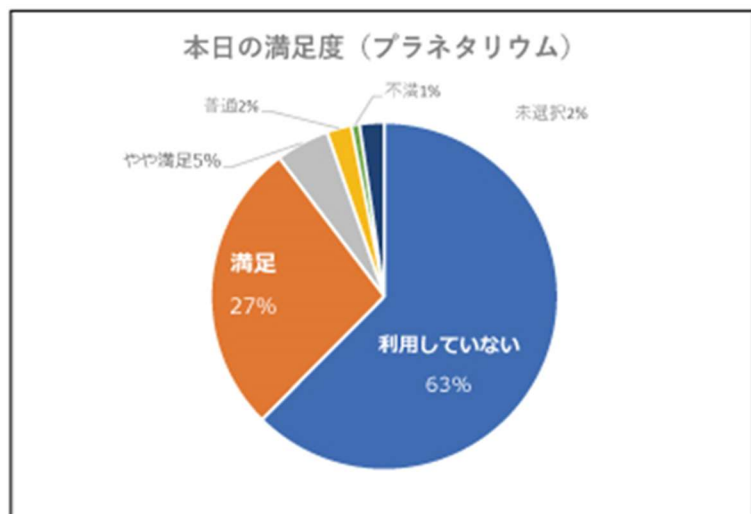
同行者	
親子	146
友人	63
配偶者・恋人	26
なし	18
団体	0
その他	8



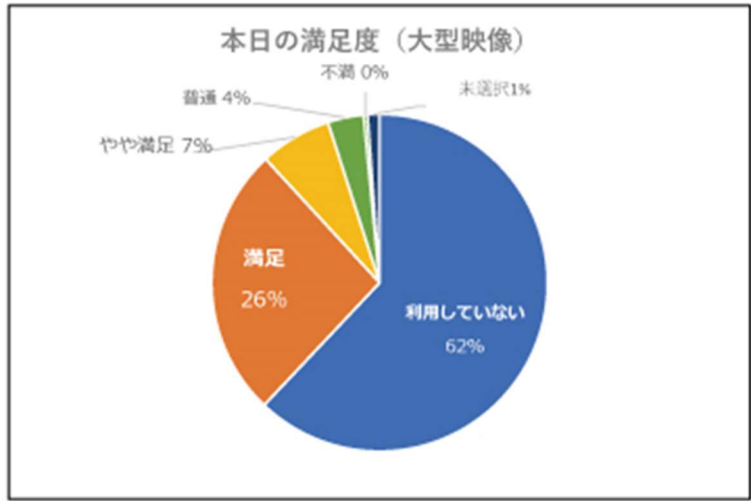
本日の満足度（全体）	
満足	209
やや満足	40
普通	10
やや不満	2
不満	0
利用していない	0
未選択	0



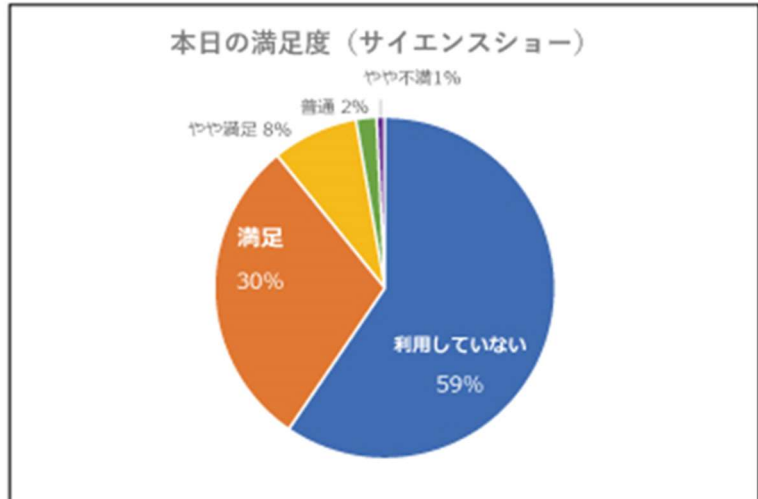
本日の満足度（プラネタリウム）	
満足	71
やや満足	13
普通	6
やや不満	0
不満	2
利用していない	163
未選択	6



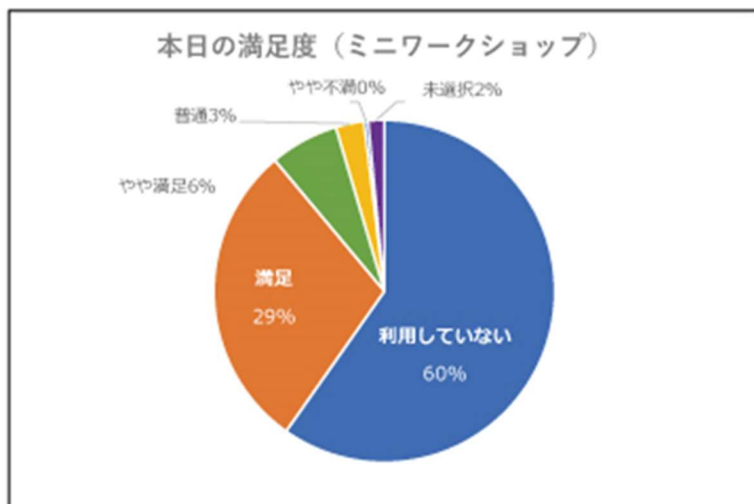
本日の満足度（大型映像）	
満足	68
やや満足	18
普通	9
やや不満	0
不満	1
利用していない	162
未選択	3



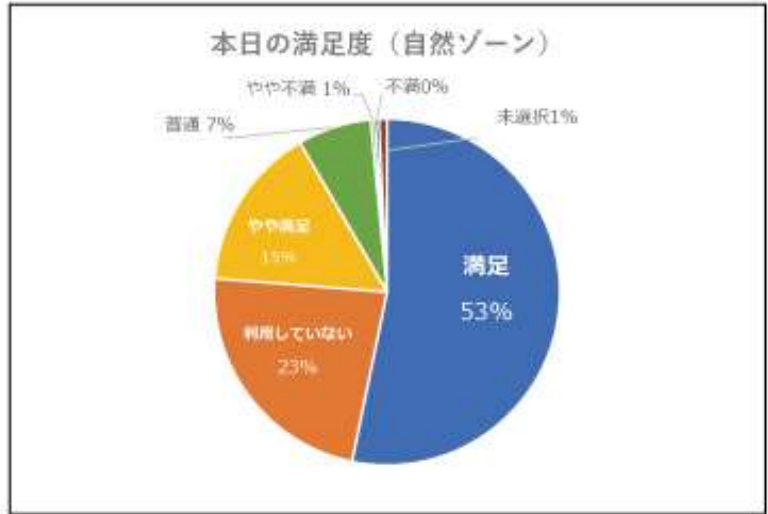
本日の満足度（サイエンスショー）	
満足	76
やや満足	21
普通	5
やや不満	2
不満	1
利用していない	153
未選択	3



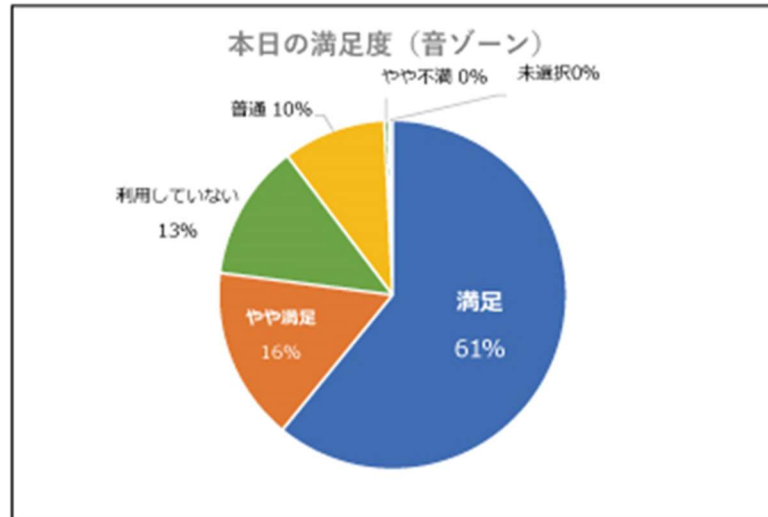
本日の満足度（ミニワークショップ）	
満足	76
やや満足	17
普通	7
やや不満	1
不満	0
利用していない	156
未選択	4



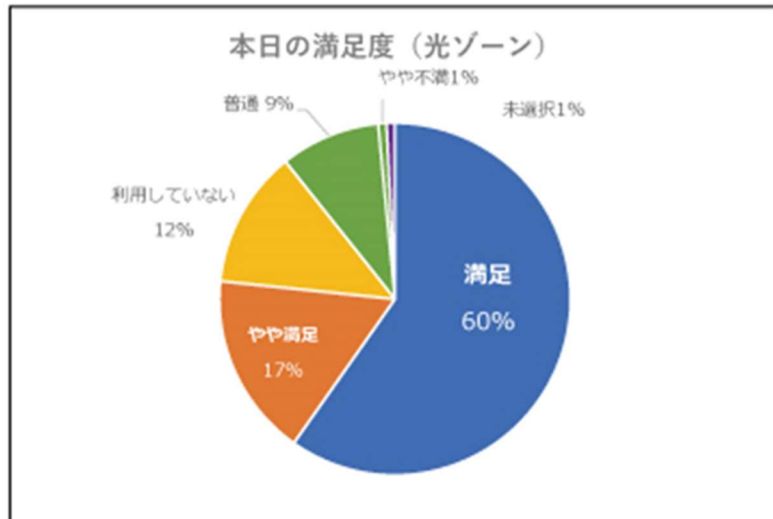
本日の満足度(自然ゾーン)	
満足	139
やや満足	40
普通	18
やや不満	1
不満	1
利用していない	60
未選択	2



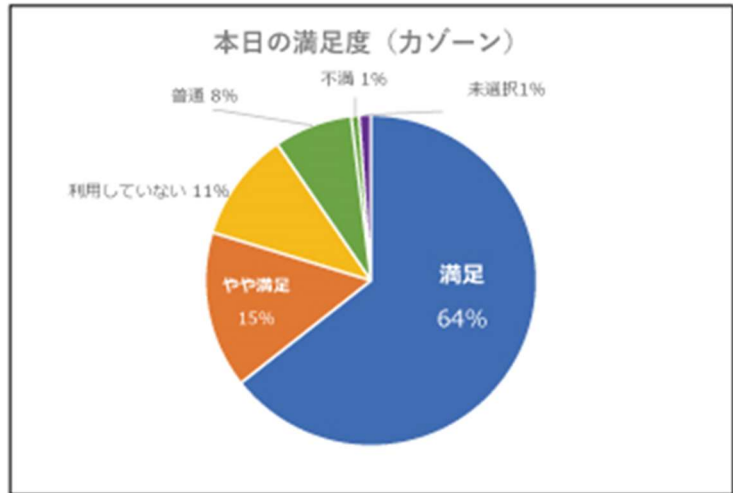
本日の満足度(音ゾーン)	
満足	159
やや満足	42
普通	25
やや不満	1
不満	0
利用していない	33
未選択	1



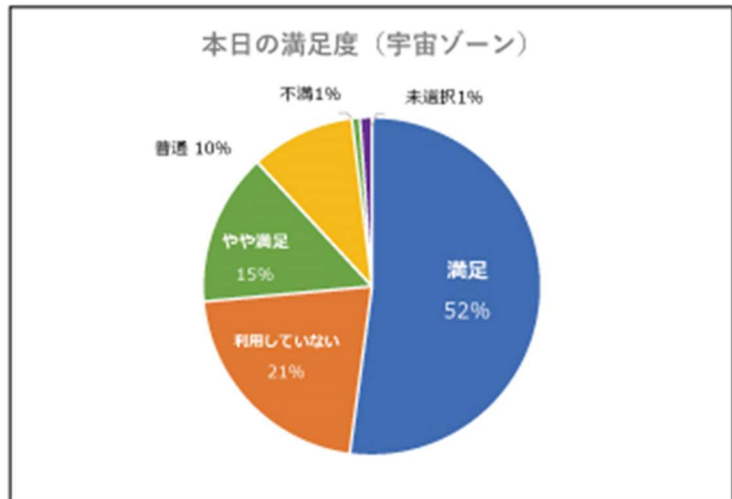
本日の満足度(光ゾーン)	
満足	156
やや満足	44
普通	24
やや不満	2
不満	0
利用していない	33
未選択	2



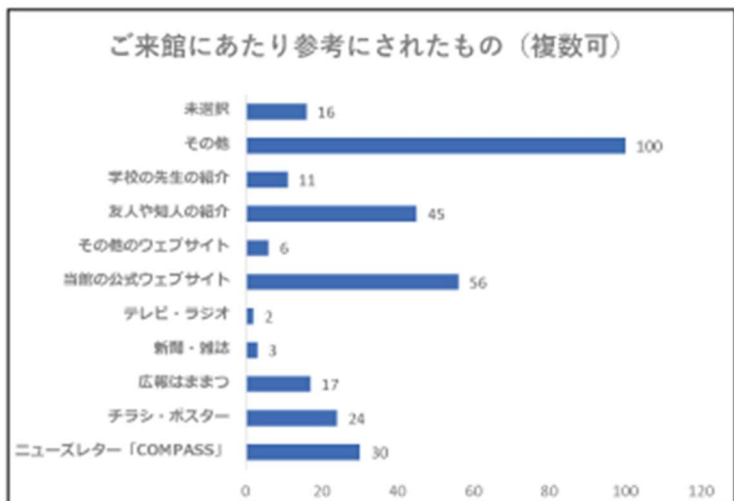
本日の満足度（カゾーン）	
満足	168
やや満足	40
普通	20
やや不満	0
不満	2
利用していない	28
未選択	3



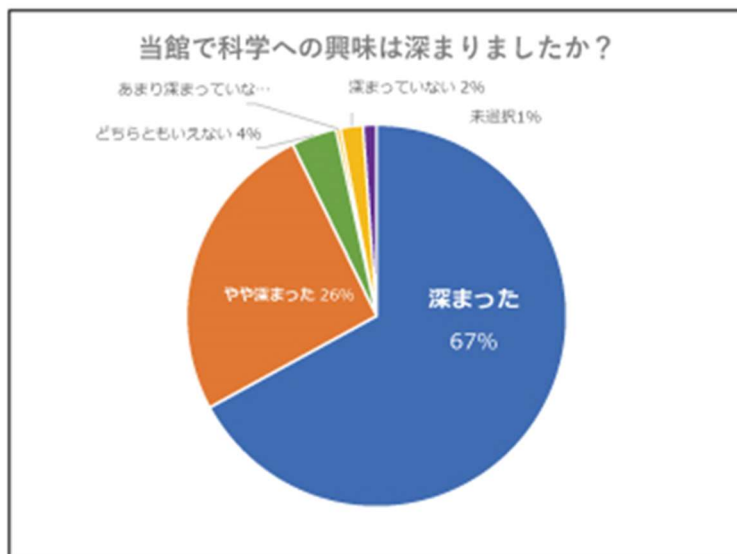
本日の満足度（宇宙ゾーン）	
満足	136
やや満足	38
普通	26
やや不満	0
不満	2
利用していない	56
未選択	3



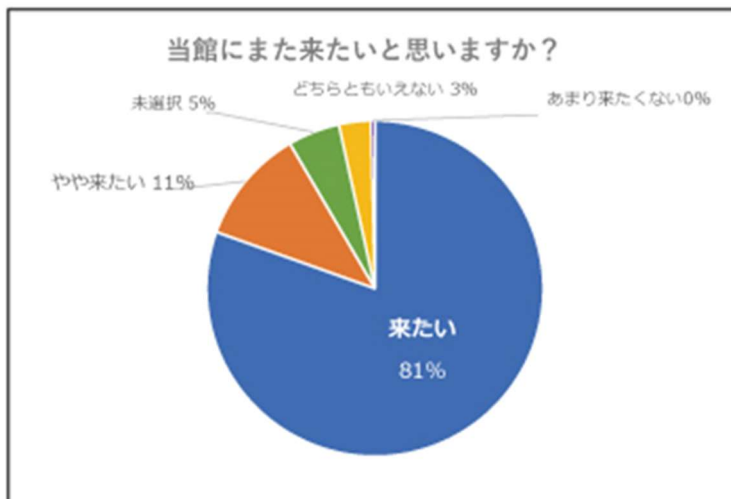
ご来館に当たり参考にされたもの（複数可）	
ニュースレター「COMPASS」	30
チラシ・ポスター	24
広報はままつ	17
新聞・雑誌	3
テレビ・ラジオ	2
当館の公式ウェブサイト	56
その他のウェブサイト	6
友人や知人の紹介	45
学校の先生の紹介	11
その他	100
未選択	16



当館で科学への興味は深まりましたか？	
深まった	175
やや深まった	67
どちらともいえない	10
あまり深まっていない	1
深まっていない	5
未選択	3

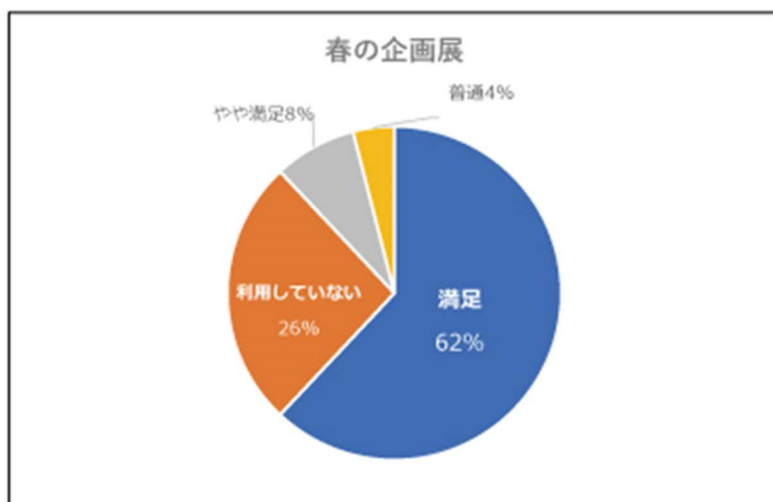


当館にまた来たいと思いますか？	
来たい	210
やや来たい	29
どちらともいえない	8
あまり来たくない	1
来たくない	0
未選択	13



実施期間：2020年3月28日～2021年3月31日 回答数：50件

性別	
満足	31
やや満足	4
普通	2
やや不満	0
不満	0
利用していない	13
未選択	0



本日最も印象に残った体験、展示など（自由記入）

- ・春の企画展「ビーコ展 in 浜松」（18人） ・プラネタリウム（12人） ・サイエンスショー（9人）
- ・クルマの基本と応用（スズキ）（8人） ・ロケットを飛ばそう、音ゾーン（各7人）
- ・ミニワーク、バイクの基本(スズキ)、アクティブ・スペース・ミッション（各5人）
- ・昔あそび広場、ナゾトキ、アクティブ・サウンド・ライブ、アクティブ・ライト・シューティング、アクティブ・パワー・コースター、カゾーン（各3人）
- ・パワーアシストつなひき(ヤマハ発動機)、光の波長と技術、全体（各2人）
- ・はままつ環境ウォール、色当てチャレンジ、ナノレーザー(ローム浜松)、振り子の動き、ロックバルancing、15分で科学実験、カフェ（各1人）
- ・いつもスタッフの皆さんが、親切にしてくれるところです。
- ・昔来た時よりも、ものすごく遊び心がありました。
- ・サイエンスに関するいろいろな体験がたくさんできて、とても興味を持つことができました！光や力などの違いを体験しながら、考えることができました！

当館への意見やご要望（抜粋）

- ・野外にベンチがもう少しあれば良い。
- ・もう少し体を動かす遊びみたいなものがあつたほうがもっと楽しくなります。
- ・実験が同じものが多く子どもも飽きている様子。また違うものを期待しています。
- ・自動販売機を増やしてほしい。
- ・ロボットを作してほしい。
- ・幼児でもできるナゾトキをしたい。
- ・いつもとても楽しく利用させてもらっています。
- ・乳児スペースもあり、公園もあり、スタッフさんとても優しく、展示スペースも充実していて、科学館最強だなと感じています。ありがとうございます。
- ・工作キットを買ったので早く作りたい。 ・工作キットを増やしてほしい。
- ・「ハー」で終わらせず、もう少し子どもに科学的に思考させる工夫が欲しい。
- ・小学生無料でありがたいです。
- ・もう少し大人料金が安いとありがたいです。
- ・子どもが大満足な様子。
- ・意外と体を動かす展示が多くあり、子どもが楽しめています。
- ・不具合への対応も早く、助かります。
- ・いつも楽しみにしていますが、今回の企画(ビーコ展)が春休みにあつて良かったです。
- ・プラネタリウムが大好きで、生解説が素晴らしいです。同じプログラムなのにみなさん違って、どれも面白いです。リニューアルして、とても良くなっていると思います。ハード面もちろんですが、企画展などソフト面が特に！これからも楽しみにしています。
- ・プラネタリウムの解説をもっとマニアックにしたものもやってほしい。

当館への意見やご要望を踏まえた主な対応事例

- ・様々なロボットを集めた「ロボットまつり」を実施し、ロボットと触れ合える機会を提供しました。(2021年5月2日～5日)
- ・ミニワークショップ「磁石で再現！スイングバイ」をオリジナルの工作キットにして販売しました。

4. 浜松科学館と大学・企業等との事業連携アンケート調査(評価)結果

(1) 目的

浜松科学館が施設の使命・目的に基づいて、適正に管理運営しているかを自ら検証し自己評価するためにセルフモニタリングを実施している。その一環として、「価値創造に関する業務」における「連携先の評価」を行い、より望ましい事業連携を構築する。

- ① 大学・研究機関との連携事業（目標：都市文化創造）
- ② 地域の価値創造事業（目標：産業創造）
- ③ " （目標：観光創造）

(2) 実施先リスト

事業・催事名	実施期間	連携先(実施先)
第1回浜松小・中学生発明くふうコンテスト	募集：7月1日～8月27日 審査会：9月19日	浜松経済クラブ
注染・ゆかたコレクション in みらいーら	7月17～19日	(一社)静岡県繊維協会 浜松学芸中学校・高等学校
ポップアップストア	12月18日～1月20日	(株)栄商会
プラネタリウム新番組 制作・放映/グッズ販売	放映・グッズ販売： 10月8日～11月20日	天竜浜名湖鉄道（株）
「星空案内」共同発行	8月号から毎月1回	浜松市天文台
HAMAMATSU happy ガーベラ in みらいーら	11月22日	浜松 PC ガーベラ
グラフィックデザイン 産学連携授業	9月3日～1月18日 作品展示：2月23日～3月9日	専門学校 浜松デザインカレッジ
星のランプの展覧会	1月9日～1月24日	ホスピタルアートプロジェクトしずおか (静岡文化芸術大学)
やらまいかテクノロジーコーナーでの 企業・技術紹介	7月3日～10月10日 11月4日～2月4日	SUS(株) (株)ミダック
擬態する昆虫を探そう!	1月23日	静岡県立森林公園

(3) 調査項目

- ア. 浜松科学館と連携したことでのどのような価値が得られたか
- イ. 浜松科学館と連携した感想
- ウ. 事業を実施する中での改善すべき点や課題
- エ. 今後浜松科学館と連携してできること(アイデア)

(4) 評価結果要約

目標	連携先	主な意見
都市文化創造	浜松市天文台	星空案内がカラーでデザインも上質になり、手に取る人が増え、天文の周知・普及につながっている。多くの方から高い評価を得た。両施設の連携を形として示すことができた。今後も街なか観望会など連携したい。
	浜松学芸中学校・高等学校	浴衣のイベントをデッキで実施したが、環境が良く、地域への広報 PR 効果も高かった。「街中の屋外ステージ」として活用できると感じた。希望としては本校制作の動画をプラネタリウム等で上映してもらいたい。
	専門学校 浜松デザインカレッジ	「施設の魅力を伝え、集客につなげること」は学生達には新しいチャレンジだった。科学館は、リニューアルに伴いデザイン学習に役立つ教材が揃っており、参考になった。担当者の講義、審査、館内での展示に感謝。今後も科学館と連携し、デザインの力で集客につながる企画やアイデアを探りたい。
	ホスピタルアートプロジェクトしずおか	普段は病院内という限られた範囲での展示で終わるが多くの方に作品を見てもらえ活動を知ってもらえた。ランプを活かす空間づくりにも大いに協力してもらえた。今後もワークショップ等実施したい。
	静岡県立森林公園	昆虫について専門性のある講座を開催でき、新たな切り口から森林公園の自然の見方や魅力を伝えることができた。科学館と連携し有意義な活動を行っていることを対外的にもアピールできた。科学館からの情報で新たな客層も得られた。今後も連携し季節ごとの自然観察会や星空観察会を実施したい。
産業創造	浜松経済クラブ	従来のやり方を見直し、その後コロナ禍で内容変更をしたが事業を完遂できた。要望に対し素早い対応してもらった。発明くふうコンテスト以外でもお互いのネットワークを活かした何かができるとうい。
	静岡県繊維協会	コロナで計画変更し科学館と連携して地域にアピールできたことは繊維業界としては有意義だった。この事業を契機に遠州織物のマスク等をショップで扱ってもらえるなど新たなつながりができた。今後も「ゆかたデー」等連携していきたい。
	(株)栄商会	知名度の高い浜松科学館に出店し、いろんな方に見てもらえた。大人の客と接することがほとんどだったが、子供たちが何に興味があるのかが分かり今後の商品開発の参考になった。今後オリジナル商品の開発を一緒にしたい。
	浜松 PC ガーベラ	ガーベラと実験道具を組み合わせた展示が面白くガーベラの魅力を引き出してもらえ、幅広い客層に浜松特産ガーベラを知ってもらえた。展示・販売・サイエンスショーなど多彩なイベントができた。
	SUS(株)	製品の知名度アップにつながった。子供の目線で見たい配置の仕方も教えてもらえて助かった。春の企画展でもまたお世話になる。
	(株)ミダック	産業廃棄物について身近に感じてもらえる良い機会になった。この機会に地域の方々や子供たちが環境問題について考え改善意識が高まることを期待する。科学館での展示は社員のモチベーションもアップした。今後も連携したい。
観光創造	天竜浜名湖鉄道(株)	プラネタリウムの番組は非常に新鮮で普段気づかない視点からの内容で新たな発見だった。「星」をテーマにすることで夜の乗車にも価値が見いだせると感じた。今後も情報交換し、季節や年間行事と合わせてワークショップ等企画したい。

5. メディア取材等一覧表

取材日	メディア名	詳細	取材内容
4月3日	SBSラジオ		ボランティア募集
4月4日	夏ひめ	東海版	館全体
4月5日	FM Haro		ボランティア募集
4月6日	静岡新聞	生解説「部分日食」	
4月7日	FM Haro		ボランティア募集など
4月14日	読売新聞	おうちDEみらいーら	
4月15日	静岡新聞	HEROからの挑戦状	上野さん(おうちDEみらいーら)
4月16日	NHK	たっの静岡	防災と科学
4月22日	中日新聞		上野さん
4月22日	Eリアガイド「あひこ」		館全体
4月30日	SBSテレビ	ORANGE (おうち時間)	おうちDEみらいーら
4月30日	FM Haro		展示ストーリーブック
4月30日	YOMOと静岡	こどもかが新聞	スタッフ図鑑(山下さん)
5月1日	静岡新聞		展示ストーリーブック
5月7日	静岡新聞		おうちDEみらいーら
5月13日	FM Haro		
5月19日	東海じゃらん		館全体
6月1日	浜松ケーブルテレビ		再開
6月2日	SBSテレビ		再開
6月2日	静岡新聞		再開
6月4日	静岡新聞		生解説「プラネ「七夕伝説」
6月5日	NHK	名古屋放送局	おうちDEみらいーら
6月5日	静岡新聞		再開(※特集)
6月10日	FM Haro		再開、部分日食など
6月10日	FM Haro		部分日食
6月21日	テレビ静岡		部分日食
6月21日	静岡新聞		浜松マーケット(遠州織物)
6月23日	静岡新聞		夜の科学館
6月23日	るるぶKids	「おうちで工作実験動画」	おうちDEみらいーら
6月24日	中日新聞		浜松マーケット(遠州織物)
6月24日	ウォーカープラス		プラネタウム
6月30日	るるぶKids	「おうちでサイエンス動画」	おうちDEみらいーら
6月30日	YOMOと静岡	こどもかが新聞	スタッフ図鑑(松野さん・半田さん)
7月4日	情報誌「あふん」		館全体
7月7日	静岡新聞		生解説「プラネ「GALAXY TOURS」
7月7日	FM Haro		浜松マーケット(遠州織物)
7月8日	FM Haro		浜松マーケット(遠州織物)
7月8日	NHK	たっの静岡	おうちDEみらいーら
7月9日	朝日新聞		STAR FLIGHT
7月12日	静岡新聞	夕刊	20万人せしモニー
7月13日	静岡新聞		ゆめたまご塗装
7月13日	静岡新聞		夜の科学館
7月14日	浜松経済新聞		STAR FLIGHT
7月17日	テレビ静岡		夜の科学館
7月17日	NHK		夜の科学館 (ゆかたコレクション)
7月17日	中日新聞		夜の科学館 (ゆかたコレクション)
7月17日	静岡新聞		ゆかたコレクション
7月17日	静岡新聞		夜の科学館
7月17日	浜松ケーブルテレビ		夜の科学館 (ゆかたコレクション)
	K-mix	ピンソバ	館内の音声
7月23日	静岡新聞		ヒラメキ ナツキ みらいーら
	NHK	ワークエンド中部	シャボン玉
	NHK (ラジオ)	マイあさ	夜の科学館
7月30日	静岡新聞		STAR FLIGHT (フランス編)
7月31日	浜松ケーブルテレビ		ヒラメキ ナツキ みらいーら
8月1日	まっる静岡'21		館全体
8月5日	FM Haro		ヒラメキ ナツキ みらいーら
8月6日	中日新聞		サイエンスショー等
	NHK		歯磨き粉ポット
8月12日	K-mix	☆☆ラジ	ヒラメキ ナツキ みらいーら
8月12日	FM Haro		ベルセウス座流星群など
8月13日	静岡新聞		化石探し体験
8月14日	中日新聞		ペットボトルロケット
	NHK		牛乳パックブームラン
8月20日	NHK	さらさらサラダ	夜の科学館
8月21日	浜松ケーブルテレビ		夜の科学館
8月21日	K-mix	Double Eyes	夜の科学館
8月21日	中日新聞		夜の科学館
9月1日	静岡新聞		生解説「プラネ「天電浜名湖鉄道 星空紀行」
9月4日	YOMOと静岡		伊藤さん
9月8日	FM Haro		生解説「プラネ「GALAXY TOURS」
9月8日	eらこ		館全体
9月9日	FM Haro		
9月9日	浜松百景	10月号?	生解説「プラネ「天電浜名湖鉄道 星空紀行」
9月11日	womo		館全体
9月12日	静岡新聞		生解説「プラネ「天電浜名湖鉄道 星空紀行」
9月15日	静岡第一テレビ	まるごと	館全体
	静岡新聞		夜の科学館
9月17日	静岡新聞		櫻壇賞審査会
	NHK	ワークエンド中部	声の振動を使った実験&工作
9月19日	静岡新聞		発明ふんコンテスト審査会

取材日	メディア名	詳細	取材内容
9月21日	佐鳴予備校キッズジャーナル	12月発行号	館全体
9月29日	浜松市プロモーション動画		館全体
9月30日	静岡新聞	夕刊	生解説「プラネ「天電浜名湖鉄道 星空紀行」
	浜松・浜名湖だいずきネット		夜の科学館
10月1日	FM Haro		生解説「プラネ「天電浜名湖鉄道 星空紀行」
10月7日	K-mix		ペットボトルで浮沈子づくり
10月8日	静岡新聞		大型映像「オーロラの調べ」
10月8日	中日新聞		生解説「プラネ「天電浜名湖鉄道 星空紀行」
10月14日	静岡朝日テレビ		※
10月14日	eらこ		ヒラメキ ナツキ みらいーら
10月14日	IN HAMAMATSU.COM		生解説「プラネ「天電浜名湖鉄道 星空紀行」
10月15日	浜松ケーブルテレビ		生解説「プラネ「天電浜名湖鉄道 星空紀行」
10月16日	中日新聞		夜の科学館 (STAR FLIGHT)
10月20日	読売新聞		生解説「プラネ「天電浜名湖鉄道 星空紀行」
10月27日	ハマラボ		生解説「プラネ「天電浜名湖鉄道 星空紀行」
10月29日	静岡新聞		生解説「プラネ「天電浜名湖鉄道 星空紀行」
10月29日	YOMOと静岡		三島さん (ナツキ)
11月4日	静岡新聞		生解説「プラネ「はやぶさ2」
11月4日	あふん	年末年始号	館全体
11月6日	読売新聞		夜の科学館
11月7日	るるぶ	こどもとあそび名古屋 東海 北陸	館全体
11月10日	エレクトリックvol.52		館全体
11月11日	FM Haro		生解説「プラネ「天電浜名湖鉄道 星空紀行」
11月11日	ハマラボ		生解説「プラネ「天電浜名湖鉄道 星空紀行」
11月14日	春夏秋冬ひめ		館全体
11月17日	しみずニレポット		館全体
	NHK	ワークエンド中部	静電気
11月21日	静岡新聞		常葉大学卒業制作展示
11月21日	中日新聞		常葉大学卒業制作展示
11月22日	名鉄観光サービス		インバウンド需要喚起
11月22日	中日新聞		ガーベラ
12月1日	ハマラボ		バードウォッチング
12月1日	FM Haro		バードウォッチング
12月3日	静岡新聞		生解説「プラネ「家康公が見た星空」
12月3日	読売新聞		生解説「プラネ「はやぶさ2」
12月6日	静岡新聞		生解説「プラネ「はやぶさ2」
12月9日	中日新聞		生解説「プラネ「はやぶさ2」
12月9日	K-mix		夜の科学館ほか
12月10日	浜松ケーブルテレビ		バードウォッチング
12月10日	静岡新聞		夜の科学館
	NHK	ワークエンド中部	だるま落とし
12月14日	FM Haro		生解説「プラネ「はやぶさ2」ほか
	スムージーcafé		
12月19日	静岡第一テレビ		生解説「プラネ「はやぶさ2」
12月22日	中日新聞		生解説「プラネ「家康公が見た星空」
12月22日	静岡新聞		生解説「プラネ「家康公が見た星空」
12月25日	中日新聞		トークオブワナー
12月26日	浜松ケーブルテレビ		生解説「プラネ「家康公が見た星空」
1月3日	静岡新聞		昔あそび広場
1月3日	中日新聞		昔あそび広場
1月5日	FM Haro		昔あそび広場
1月5日	浜松ケーブルテレビ		昔あそび広場
1月5日	中日新聞		ブックセレクション
1月7日	静岡新聞		STAR FLIGHT (バリ島編)
1月8日	ハマラボ		嵐揚げ
1月9日	静岡新聞		星のランパの展覧会
1月13日	NHK	ワークエンド中部	嵐揚げ
1月18日	中日新聞		イ号テレビ
1月18日	浜松百景	2月号	生解説「プラネ「家康公が見た星空」
	旅行新聞		生解説「プラネ「家康公が見た星空」
1月21日	NHK		
1月21日	静岡第一テレビ		
1月22日	テレビ静岡		
1月22日	静岡県観光協会		館全体
2月2日	るるぶ浜松・浜名湖・三河'22		館全体
2月2日	静岡新聞		STAR FLIGHT (オーストラリア編)
2月3日	ハマラボ		チョコレート
2月10日	FM Haro		生解説「プラネ「家康公が見た星空」
2月12日	TOHOたより	2021春夏号	館全体
2月19日	中日新聞		夜の科学館
2月24日	中日新聞		浜松デザインカレッジ
	静岡新聞		オーロラの調べ
3月9日	FM Haro		ピーコ展
3月9日	ハマラボ		デジタルアプリケーション
3月9日	ハマラボ		サイエンスショー
3月9日	静岡新聞	YOMOと静岡	スタッフ図鑑 (上野さん)
	静岡新聞		ピーコ展
3月20日	静岡新聞		ピーコ展
	NHK	ワークエンド中部	空気砲
3月27日	静岡新聞		トークオブワナー
3月29日	浜松ケーブルテレビ		ピーコ展

6. 臨時休館中の業務実施状況及び職務体制

COVID-19 感染予防対策のため2020年4月1日～5月31日まで臨時休館措置を取り、その間、再開に向けての準備に取り組みました。

項 目	内 容
職員の勤務体制	1. 管理事務 ・指定管理者管理職及び職員が事務所で執務し、訪問者や電話等の対応を実施。 ・施設維持管理業務で休館日（月曜日等）以外、設備運転・保守、建物の管理等実施。 ・清掃業務を定期的を実施。一部清掃ロボットを活用。 2. 事業運営 ・動画配信コンテンツ「おうち DE みらいーら」やミニガイドブックを作成し公開（4月：25編、5月：26編）。 ・新規企画事業の構想、準備、プログラミング等。 3. 自主研修 ・職務スキルの向上とキャリアアップのための技能習得。 ・グラフィックデザインをテーマとしたオンライン研修。（5/14、21日 講師：自治体広報アドバイザー 佐久間智之氏） ・ユニバーサルマナー検定3級研修・資格取得（アテンダントチーム）
勤務時間	通常の開館時間に対応したほか感染予防対策として時短勤務、一部職員が在宅勤務を行った。

IX 指定管理者による自己評価

浜松科学館中期計画（2019年度～2021年度）における使命（ミッション）と4つの事業目標に基づいて、指定管理者が成果に向けたPDCAサイクルとして自己評価に取り組んでいます。

【事業目標1】 コミュニケーションを重視した学びの場を構築

今年度はCOVID-19対策によるさまざまな運営上の制約が課されましたが、2019年度の展示リニューアルの大きな成果を継続させ、科学館の中核事業を高い水準で維持・発展させることに留意しました。

プラネタリウム・大型映像の観覧者数は4万2,742人で、常設展入場者数の約8万8,826人に対して48%の観覧率となり、前年度から6ポイント向上しています。当科学館スタッフが精力的に取り組んでいる生解説主体の投映スタイルと、地域資源に着目したオリジナルコンテンツの魅力が徐々に浸透してきたものと考えられます。投映テーマの「天竜浜名湖鉄道 星空紀行」、「家康公が見た星空」、「月まで何キロ？」は、それぞれ地域の観光拠点や事業者との連携を拡充し、地域の価値創造を志向する事業目標との懸け橋となりました。

夏の特別イベントとしてスタートした「ヒラメキ ナゾトキ みらいーら」は、リピーターの人気に押されて12月末まで延長開催した結果、参加した同行の家族・友人等を含めると5千人ほどがスタッフのヒントを頼りに館内をめぐったことになり、「常設展示を媒介としたコミュニケーションの活性化」という望ましい成果につながりました。

サイエンスショーは、1回の時間を短縮して実施回数を増やしたことにより、昨年度の2倍の約1,300回実施し、参加者数が2万7千人を超えて入場者の31%、ミニワークショップの参加者数は1万人以上（保護者含む）で、入場者の12%でした。常設展入場者総数は昨年度の46%にとどまりましたが、逆にこれらの体験型コンテンツへの参加比率が高まった結果、利用者満足度を向上させることができたものと考えます。

「コミュニケーションを重視した学びの場を構築」という目標に対しては、参加者数などの定量的な指標を目安としつつ、COVID-19対策によるプログラムの時間短縮や人数制限、ハンズオン展示の制約などへの対応を通じて、利用者の体験価値の質そのものを向上させることに留意するきっかけとなりました。単に体験する機会を増やすだけでなく、利用者を起点とした学びの「楽しさ」や「喜び」を実感できるよう、プログラムの検証と改善が随所に見られるようになっています。バックヤード業務でのユーザー・インターフェースとなるチケット対面販売でも、利用者との接触ポイントを意識的に増やしていることを含め、館内での声掛けを適切に増進させるよう図っているところです。利用者とのコミュニケーションから強固なリレーションへと、提供する価値をより明確にし、浜松科学館のブランディングに資することを目指しています。

【事業目標2】 市民の科学館への愛着を醸成

企画を内製化し、独自のコンテンツにこだわることで、他の施設にできない雰囲気や魅力を作り出しています。今年度から始まった「夜の科学館」では、展示空間での成人層の「学び直し」とともに、大人限定特別投映「スターフライト」が高い人気を得て、星空を通じたバーチャル・トラベルとして新たなプラネタリウムの楽しみ方を提示し、延べ2千人以上の観覧者の支持を得ています。臨時休館中に開始したオンラインコンテンツ（「おうち DE みらいーら」）の配信は、科学館の認知度を全国的に広げることに奏功しました。

昨年度から継続して、中学生の職場体験活動、教員研修の受け入れ、大学の博物館・社会教育施設実習などを実施しましたが、大学のオンライン講義化や学校の団体利用の減少で、学生インターンや出張授業などの一部の事業は縮小せざるを得ませんでした。科学館とステークホルダーのつながりが絶たれないよう、情報の発信や案内に努めましたが、関係性の維持には課題が残ります。科学館活動のパートナーである科学館ボランティアに対しては、COVID-19対策に十分留意しつつ、可能な範囲での活動を促しました。ボランティアが自主的にミニワークの補助や自然観察園の

手入れ・観察などに取り組み、専門スタッフとの交流が深まっています。利用者とも積極的にかかわりを持つことで自己実現の場としての萌芽が生じてきました。

また、ミュージアムショップでの地域の特産物販売やローカル企業とのコラボを通して、地域での科学館の存在意義を強めることができつつあります。

【事業目標3】 安心安全な環境づくり・賑わい創出

科学館の利用制限が継続される状況であっても、常に施設・設備の高い機能と安全性を保つために、建築設備点検・防火対象物点検・消防用設備等点検を計画的かつ適正に実施しました。臨時休館中も設備管理担当や責任者が全館の状況を確認したほか、COVID-19 対策として、新たに全館の換気量の測定や適切な消毒・清掃作業の取り組みに着手しています。

休館日には、火災を想定した年間2回の避難誘導訓練と消火器使用訓練を実施したほか、浜松市危機管理課の指導による避難所運営訓練（HUG 訓練）を行い、協力会社を含む従事者の防災意識を高めることに努めました。街中の緑地として多くの市民に親しんでいただく環境を維持するために、定期的な敷地周辺の清掃、屋外のサイエンスパークや自然観察園の高木の強剪定など、樹木や植栽の適正な管理に留意しています。ただし、科学館の敷地は常時開放されている空間であるため、夜間・休館日の集会、飲酒、自転車の盗難など、サイエンスパーク及び自然観察園の維持管理に課題も残りました。

【事業目標4】 経営資源の価値向上と持続性保持

臨時休館中の在宅勤務の研修・自己研鑽の支援や、目標管理（MBO）を通じた人事評価制度に取り組んでおり、スタッフのエンゲージメントを向上させることに努めています。

COVID-19 の感染対策に関する指針を適宜整え、業務に必要な衛生・消毒用品の調達など、持続性のある現場運営に努めました。また、臨時休館や利用制限による利用料金収入等の減少に対し、期間のキャッシュフローに障害が生じないよう、共同事業体の経営努力で予算管理対応を行ったほか、各社が管理運営する他の学習施設等との人的交流や事業面の連携を図り、運営方法などの共有を図っています。

中長期的指針である戦略計画（使命・目標の設定）に基づく科学館の事業運営に関して、浜松科学館運営委員会の助言・評価を得る一方、学校教育との連携に関するテーマ別懇話会（運営委員会分科会）を開催して、実効性の高い方策を検討し、実施に移しています。

令和 2 年度浜松科学館事業報告書

令和 3 年 5 月

浜松科学館指定管理者

乃村工藝社・SBS プロモーション共同事業体

〒430-0923 浜松市中区北寺島町 256 番地の 3

Tel.053-454-0178 Fax.053-454-0184

info@mirai-ra.jp